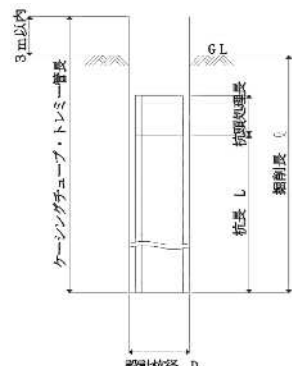
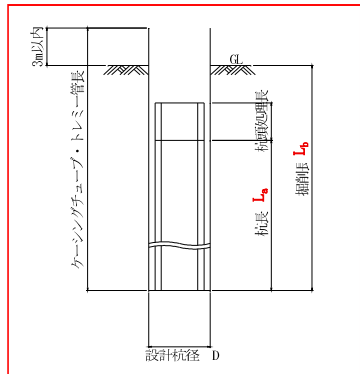


工 種	場所打杭工(全回転オールケーシング工)
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																														
現	行	改 正	備 考																													
(注) 1. 掘削日数はケーシング建込日数を含む。 2. ケーシングの仮置きは、現場内を標準とするが、現場条件等により、ケーシング運搬が必要な場合は、別途考慮する。 3. チェセル等を用いて地中障害物等を撤去する場合は、別途考慮する。 ②杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D_{co}) 杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D_{co}) には打込準備 (敷鉄板の設置・撤去含む)、芯出し、機械移動据付、検尺、注水、スライム処理、鉄筋かご建込、鉄筋かご継足、トレミー管建込、コンクリート打設・ケーシング引抜、トレミー管引抜を含む。 <table><caption>表5. 2 杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (日/本)</caption><tr><th>掘 削 長 (m)</th><th>杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数</th></tr><tr><td>0 < ℓ ≤ 10</td><td>0.45</td></tr><tr><td>10 < ℓ ≤ 20</td><td>0.70</td></tr><tr><td>20 < ℓ ≤ 30</td><td>0.97</td></tr><tr><td>30 < ℓ ≤ 40</td><td>1.24</td></tr><tr><td>40 < ℓ ≤ 50</td><td>1.50</td></tr><tr><td>50 < ℓ ≤ 60</td><td>1.76</td></tr></table> (注) コンクリート打設はアジテータとコンクリート打込スロープを使用した施工を標準とする。なお、現場条件等により、コンクリート打込スロープが使用出来ない場合には、別途考慮する。  図5-1 施工図 5-2 材料の使用数量 杭1本に必要なコンクリート使用数量は、次式による。 $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L \times (1 + K)$ Q : 杭1本当りのコンクリート使用数量 (m³/本) II-3-②-4		掘 削 長 (m)	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数	0 < ℓ ≤ 10	0.45	10 < ℓ ≤ 20	0.70	20 < ℓ ≤ 30	0.97	30 < ℓ ≤ 40	1.24	40 < ℓ ≤ 50	1.50	50 < ℓ ≤ 60	1.76	現行どおり ②杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D_{co}) 杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (D_{co}) には打込準備 (敷鉄板の設置・撤去含む)、芯出し、機械移動据付、検尺、注水、スライム処理、鉄筋かご建込、鉄筋かご継足、トレミー管建込、コンクリート打設・ケーシング引抜、トレミー管引抜を含む。 <table><caption>表5. 2 杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数 (日/本)</caption><tr><th>掘 削 長 (m)</th><th>杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数</th></tr><tr><td>0 < L_o ≤ 10</td><td>0.45</td></tr><tr><td>10 < L_o ≤ 20</td><td>0.70</td></tr><tr><td>20 < L_o ≤ 30</td><td>0.97</td></tr><tr><td>30 < L_o ≤ 40</td><td>1.24</td></tr><tr><td>40 < L_o ≤ 50</td><td>1.50</td></tr><tr><td>50 < L_o ≤ 60</td><td>1.76</td></tr></table> (注) コンクリート打設はアジテータとコンクリート打込スロープを使用した施工を標準とする。なお、現場条件等により、コンクリート打込スロープが使用出来ない場合には、別途考慮する。  図5-1 施工図 5-2 材料の使用数量 杭1本に必要なコンクリート使用数量は、次式による。 $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times L_o \times (1 + K)$ Q : 杭1本当りのコンクリート使用数量 (m³/本)		掘 削 長 (m)	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数	0 < L _o ≤ 10	0.45	10 < L _o ≤ 20	0.70	20 < L _o ≤ 30	0.97	30 < L _o ≤ 40	1.24	40 < L _o ≤ 50	1.50	50 < L _o ≤ 60	1.76	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
掘 削 長 (m)	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数																															
0 < ℓ ≤ 10	0.45																															
10 < ℓ ≤ 20	0.70																															
20 < ℓ ≤ 30	0.97																															
30 < ℓ ≤ 40	1.24																															
40 < ℓ ≤ 50	1.50																															
50 < ℓ ≤ 60	1.76																															
掘 削 長 (m)	杭1本当りのコンクリート打設等の施工日数																															
0 < L _o ≤ 10	0.45																															
10 < L _o ≤ 20	0.70																															
20 < L _o ≤ 30	0.97																															
30 < L _o ≤ 40	1.24																															
40 < L _o ≤ 50	1.50																															
50 < L _o ≤ 60	1.76																															
積算上の注意事項			(控え頁) 3/8																													

工 種	場所打杭工(全回転オールケーシング工)
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																					
現 行				改 正				備 考																																																																																			
6. ビット等損耗費 杭 1 本あたりビット等損耗費は、ケーシングチューブに取付けるビットの費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する（杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない）。 なお、ビット等損耗費については、杭 1 本あたりで算出する。 <table><caption>表6. 1 ビット等損耗費率(P) (1 m当り損耗費率)</caption><tr><th>土質 設計杭径</th><th>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th><th>岩塊・玉石</th><th>軟岩Ⅰ</th><th>軟岩Ⅱ</th><th>中硬岩</th><th>硬岩Ⅰ</th></tr><tr><td>1,000mm</td><td>0.3%</td><td>31%</td><td>13%</td><td>10%</td><td>35%</td><td>65%</td></tr><tr><td>1,100mm</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1,200mm</td><td>0.4%</td><td>37%</td><td>15%</td><td>12%</td><td>41%</td><td>75%</td></tr><tr><td>1,500mm</td><td>0.5%</td><td>53%</td><td>22%</td><td>18%</td><td>59%</td><td>110%</td></tr><tr><td>2,000mm</td><td>0.7%</td><td>67%</td><td>28%</td><td>22%</td><td>74%</td><td>138%</td></tr></table> (注) 1. ビット損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。 $\text{損耗費率}P = \frac{P_1 \times \varnothing_1 + P_2 \times \varnothing_2 \cdots}{\varnothing_1 + \varnothing_2 \cdots}$ ここで、P_n:各土質のビット損耗費率 $\varnothing_n$:各土質の掘削長（m） 2. Pは小数点以下 1 桁とし、小数第 2 位を四捨五入する。 (例) 設計杭径1,000mm、砂質土 5 m、レキ質土15 m、岩塊・玉石 3 m、軟岩Ⅱ 3 mの場合 $P = \frac{0.3\% \times 5m + 0.3\% \times 15m + 31\% \times 3m + 10\% \times 3m}{5m + 15m + 3m + 3m} = 4.96 \cdots \approx 5.0\%$				土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ	1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%	1,100mm							1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%	1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%	2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%	現行どおり <table><caption>表6. 1 ビット等損耗費率(P) (1m当り損耗費率)</caption><tr><th>土質 設計杭径</th><th>レキ質土 粘性土 砂及び砂質土</th><th>岩塊・玉石</th><th>軟岩Ⅰ</th><th>軟岩Ⅱ</th><th>中硬岩</th><th>硬岩Ⅰ</th></tr><tr><td>1,000mm</td><td>0.3%</td><td>31%</td><td>13%</td><td>10%</td><td>35%</td><td>65%</td></tr><tr><td>1,100mm</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1,200mm</td><td>0.4%</td><td>37%</td><td>15%</td><td>12%</td><td>41%</td><td>75%</td></tr><tr><td>1,500mm</td><td>0.5%</td><td>53%</td><td>22%</td><td>18%</td><td>59%</td><td>110%</td></tr><tr><td>2,000mm</td><td>0.7%</td><td>67%</td><td>28%</td><td>22%</td><td>74%</td><td>138%</td></tr></table> (注) 1. ビット損耗費率は、掘削する土質毎に損耗費率を加重平均して算出する。 $\text{損耗費率}P = \frac{P_1 \times L_{01} + P_2 \times L_{02} \cdots}{L_{01} + L_{02} \cdots}$ ここで、P_n:各土質のビット損耗費率 L_{0n}:各土質の掘削長（m） 2. Pは小数点以下 1 桁とし、小数第 2 位を四捨五入する。 (例) 設計杭径1,000mm、砂質土 5m、レキ質土15m、岩塊・玉石 3m、軟岩Ⅱ 3mの場合 $P = \frac{0.3\% \times 5m + 0.3\% \times 15m + 31\% \times 3m + 10\% \times 3m}{5m + 15m + 3m + 3m} = 4.96 \cdots \approx 5.0\%$ 記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)				土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ	1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%	1,100mm							1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%	1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%	2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%
土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ																																																																																					
1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%																																																																																					
1,100mm																																																																																											
1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%																																																																																					
1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%																																																																																					
2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%																																																																																					
土質 設計杭径	レキ質土 粘性土 砂及び砂質土	岩塊・玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ																																																																																					
1,000mm	0.3%	31%	13%	10%	35%	65%																																																																																					
1,100mm																																																																																											
1,200mm	0.4%	37%	15%	12%	41%	75%																																																																																					
1,500mm	0.5%	53%	22%	18%	59%	110%																																																																																					
2,000mm	0.7%	67%	28%	22%	74%	138%																																																																																					
7. 諸 雑 費 諸雑費は、施工機械足場用の足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去、ハンマグラブ、ケーシングチューブ、ハンマクラウン、スライムバケット、ブランジャ、ベッセル、スラッシュタンク、トレミー管、コンクリート打込スロープ、吊金具、吊ワイヤ、付着防止材、口径変更器具、工事用水中モータポンプの賃料、副バンド装置の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費、運転経費、機械損料及び機械賃料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する（杭頭処理の労務費、機械賃料及び運転経費は含まない）。 <table><caption>表 7. 1 諸雑費率 (%)</caption><tr><th>設 計 杭 径</th><th>1,000mm</th><th>1,100mm</th><th>1,200mm</th><th>1,500mm</th><th>2,000mm</th></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>24</td><td>25</td><td>27</td><td>34</td><td>41</td></tr></table> (注) ビット等損耗費は、諸雑費対象額としない。 II-3-②-6				設 計 杭 径	1,000mm	1,100mm	1,200mm	1,500mm	2,000mm	諸 雑 費 率	24	25	27	34	41	現行どおり																																																																											
設 計 杭 径	1,000mm	1,100mm	1,200mm	1,500mm	2,000mm																																																																																						
諸 雑 費 率	24	25	27	34	41																																																																																						
積算上の注意事項		(控え頁) 5／8																																																																																									

工 種	場所打杭工(全回転オールケーシング工)
-----	---------------------

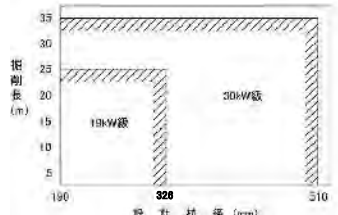
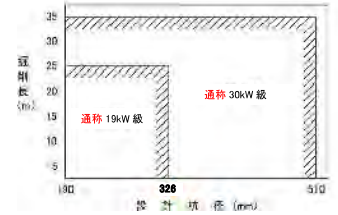
改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																					
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																	
8. 単 価 表				8. 単 価 表				記載の変更																																																																																																																																	
(1) 基礎杭工 1 本当り単価表				(1) 基礎杭工 1 本当り単価表																																																																																																																																					
<table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230310</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB230310					<table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230310</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB230310																																																																																																																										
施工歩掛コード	WB230310																																																																																																																																								
施工歩掛コード	WB230310																																																																																																																																								
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1×D_c</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>1×D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1×D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1×D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>全回転式オールケーシング掘削機運転</td><td></td><td>日</td><td>D_c</td><td>機械損料</td></tr><tr><td>クローラクレーン運転</td><td></td><td>〃</td><td>D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)運転</td><td></td><td>〃</td><td>D_c</td><td>機械賃料</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>別途計上する</td></tr><tr><td>ピット等損耗費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表6.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>表7.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1	と び 工		〃	1×D _c	〃	特 殊 作 業 員		〃	1×D _c	〃	普 通 作 業 員		〃	1×D _c	〃	全回転式オールケーシング掘削機運転		日	D _c	機械損料	クローラクレーン運転		〃	D _c	〃	バックホウ(クローラ型)運転		〃	D _c	機械賃料	コンクリート		m ³			鉄 筋 工		t		別途計上する	ピット等損耗費		式	1	表6.1	諸 雑 費		〃	1	表7.1	計					<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1×D_c</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>1×D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1×D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1×D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>全回転式オールケーシング掘削機運転</td><td></td><td>日</td><td>D_c</td><td>機械損料</td></tr><tr><td>クローラクレーン運転</td><td></td><td>〃</td><td>D_c</td><td>〃</td></tr><tr><td>バックホウ(クローラ型)運転</td><td></td><td>〃</td><td>D_c</td><td>機械賃料</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td></td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>別途計上する</td></tr><tr><td>ピット等損耗費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表6.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>表7.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1	と び 工		〃	1×D _c	〃	特 殊 作 業 員		〃	1×D _c	〃	普 通 作 業 員		〃	1×D _c	〃	全回転式オールケーシング掘削機運転		日	D _c	機械損料	クローラクレーン運転		〃	D _c	〃	バックホウ(クローラ型)運転		〃	D _c	機械賃料	コンクリート		m ³			鉄 筋 工		t		別途計上する	ピット等損耗費		式	1	表6.1	諸 雑 費		〃	1	表7.1	計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1																																																																																																																																					
と び 工		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																					
全回転式オールケーシング掘削機運転		日	D _c	機械損料																																																																																																																																					
クローラクレーン運転		〃	D _c	〃																																																																																																																																					
バックホウ(クローラ型)運転		〃	D _c	機械賃料																																																																																																																																					
コンクリート		m ³																																																																																																																																							
鉄 筋 工		t		別途計上する																																																																																																																																					
ピット等損耗費		式	1	表6.1																																																																																																																																					
諸 雑 費		〃	1	表7.1																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人	1×D _c	表4.1																																																																																																																																					
と び 工		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	1×D _c	〃																																																																																																																																					
全回転式オールケーシング掘削機運転		日	D _c	機械損料																																																																																																																																					
クローラクレーン運転		〃	D _c	〃																																																																																																																																					
バックホウ(クローラ型)運転		〃	D _c	機械賃料																																																																																																																																					
コンクリート		m ³																																																																																																																																							
鉄 筋 工		t		別途計上する																																																																																																																																					
ピット等損耗費		式	1	表6.1																																																																																																																																					
諸 雑 費		〃	1	表7.1																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
(注) D _c : 杭 1 本当り施工日数 (日/本)				(注) D _c : 杭 1 本当り施工日数 (日/本)																																																																																																																																					
8. 単 価 表				8. 単 価 表				記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																																																	
(2) 杭頭処理 1 本当り単価表				(2) 杭頭処理 1 本当り単価表																																																																																																																																					
<table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230350</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB230350					<table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230350</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB230350																																																																																																																										
施工歩掛コード	WB230350																																																																																																																																								
施工歩掛コード	WB230350																																																																																																																																								
<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表5.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ｼﾌﾞ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)50t吊</td><td>日</td><td></td><td>表5.4 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.4</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ｼﾌﾞ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)50t吊	日		表5.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					<table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表5.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>〔油圧伸縮ｼﾌﾞ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力50～51t吊</td><td>日</td><td></td><td>表5.4 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.4</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	ラフテレンクレーン	〔油圧伸縮ｼﾌﾞ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力50～51t吊	日		表5.4 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5.4	計																																																																										
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																					
ラフテレンクレーン	油圧伸縮ｼﾌﾞ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)50t吊	日		表5.4 機械賃料																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																					
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																					
ラフテレンクレーン	〔油圧伸縮ｼﾌﾞ型・排出ｶﾞｽ対策型(2011年規制)〕 最大吊上能力50～51t吊	日		表5.4 機械賃料																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
(注) D _c : 杭 1 本当り施工日数 (日/本)				(注) D _c : 杭 1 本当り施工日数 (日/本)																																																																																																																																					
II-3-②-7																																																																																																																																									
積算上の注意事項		(控え頁) 6/8																																																																																																																																							

工 種	場所打杭工(全回転オールケーシング工)
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																															
現 行				改 正				備 考																																													
(3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td rowspan="2">全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機</td><td>ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46</td></tr><tr><td>ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46</td></tr><tr><td rowspan="2">クローラクレーン</td><td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 70～90t吊</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39</td></tr><tr><td>油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 100t吊</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5㎡(平積0.4㎡)</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60</td></tr></table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 70～90t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 100t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5㎡(平積0.4㎡)	機－28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60	(3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td rowspan="2">全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機</td><td>[ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 排ガス対策型(第 3 次基準値)] 最大掘削径φ1,500mm</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46</td></tr><tr><td>[ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 排ガス対策型(第3次 基準値)] 最大掘削径φ2,000mm</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46</td></tr><tr><td rowspan="2">クローラクレーン</td><td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制)]最大吊上能力70～90t吊</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39</td></tr><tr><td>[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力100t吊</td><td>機－18</td><td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39</td></tr><tr><td>バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)</td><td>[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 山積バケット容量0.5m3(平積0.4 ㎡)</td><td>機－28</td><td>運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60</td></tr></table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機	[ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 排ガス対策型(第 3 次基準値)] 最大掘削径φ1,500mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46	[ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 排ガス対策型(第3次 基準値)] 最大掘削径φ2,000mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46	クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制)]最大吊上能力70～90t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力100t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39	バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 山積バケット容量0.5m3(平積0.4 ㎡)	機－28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																		
全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 最大掘削径φ1,500mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46																																																		
	ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 最大掘削径φ2,000mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46																																																		
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 70～90t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39																																																		
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 100t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39																																																		
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.5㎡(平積0.4㎡)	機－28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																		
全 回 転 型 オールケーシング 掘 削 機	[ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 排ガス対策型(第 3 次基準値)] 最大掘削径φ1,500mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 → 88 機械損料数量→ 1.46																																																		
	[ケーシングドライバ (スキッド式・ディーゼル ／油圧駆動) 排ガス対策型(第3次 基準値)] 最大掘削径φ2,000mm	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →145 機械損料数量→ 1.46																																																		
クローラクレーン	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制)]最大吊上能力70～90t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →106 機械損料数量→ 1.39																																																		
	[油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型・基礎工事用・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力100t吊	機－18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量 →119 機械損料数量→ 1.39																																																		
バ ッ ク ホ ウ (ク ロ ー ラ 型)	[後方超小旋回型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(2014年規制)] 山積バケット容量0.5m3(平積0.4 ㎡)	機－28	運転労務数量→ 0.80 燃料消費量 → 35 機械賃料数量→ 1.60																																																		
II-3-②-8																																																					
積算上の注意事項								(控え頁) 7／8																																													

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行			
現 行				改 正				備 考	
9. 施工単価入力基準表 (1) 全回転式オールケーシング工 施工歩掛コードWB230310 施工単位本 施工区分入力条件 各種設計杭径J 1J 2J 3J 4J 5 レキ質土、粘性土、砂及び砂質土の掘削長 岩塊・玉石の掘削長 軟岩Ⅰの掘削長 軟岩Ⅱの掘削長 D(mm)ℓ(m)ℓ(m)ℓ(m)ℓ(m) (表9. 1)(実数入力)(実数入力)(実数入力)(実数入力) J 6J 7J 8J 9 中硬岩の掘削長硬岩Ⅰの掘削長杭長コンクリート規格 ℓ(m)ℓ(m)L(m)(表9. 2) (実数入力)(実数入力)(実数入力) (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいる。 2. J 9条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価(Y-0210000) [円/㎡]を単価登録すること。 3. 鉄筋工は、第Ⅵ編第2章市場単価①ー1「鉄筋工(太径鉄筋含む)(WB810010)」を適用し、別途計上すること。 表9. 1 設計杭径 設計杭径(D)入力番号 1,000mm① 1,100mm② 1,200mm③ 1,500mm④ 2,000mm⑤ 表9. 2 コンクリート規格 コンクリート規格入力番号 30-18-10 普通① 30-18-40 高炉B② 生コンクリート各種(Y-0210000)③ (2) 杭頭処理 施工歩掛コードWB230350 施工単位本 施工区分入力条件 各種J 1 設計杭径 D(mm) (表9. 1) (注) 杭頭処理に伴う小割・設備込・運搬・処分は、機械施工の場合、第Ⅵ編第1章④「構造物とりこわし工(WB824020)」を適用し、別途計上すること。				9. 施工単価入力基準表 (1) 全回転式オールケーシング工 施工歩掛コードWB230310 施工単位本 施工区分入力条件 各種設計杭径J 1J 2J 3J 4J 5 レキ質土、粘性土、砂及び砂質土の掘削長 岩塊・玉石の掘削長 軟岩Ⅰの掘削長 軟岩Ⅱの掘削長 D(mm)ℓ₀(m)ℓ₀(m)ℓ₀(m)ℓ₀(m) (表9. 1)(実数入力)(実数入力)(実数入力)(実数入力) J 6J 7J 8J 9 中硬岩の掘削長硬岩Ⅰの掘削長杭長コンクリート規格 ℓ₀(m)ℓ₀(m)ℓ₀(m)(表9. 2) (実数入力)(実数入力)(実数入力) (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいる。 2. J 9条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価(Y-0210000) [円/㎡]を単価登録すること。 3. 鉄筋工は、第Ⅱ編第4章コンクリート工④ー1鉄筋工(太径鉄筋含む)(WB810010)を適用し、別途計上すること。 表9. 1 設計杭径 設計杭径(D)入力番号 1,000mm① 1,100mm② 1,200mm③ 1,500mm④ 2,000mm⑤ 表9. 2 コンクリート規格 コンクリート規格入力番号 30-18-10 普通① 30-18-40 高炉B② 生コンクリート各種(Y-0210000)③ (2) 杭頭処理 施工歩掛コードWB230350 施工単位本 施工区分入力条件 各種J 1 設計杭径 D(mm) (表9. 1) (注) 杭頭処理に伴う小割・設備込・運搬・処分は、機械施工の場合、第Ⅵ編第1章④「構造物とりこわし工(WB824020)」を適用し、別途計上すること。				記載の変更	
積算上の注意事項								(控え頁) 8／8	

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																		
現	行	改 正	備 考																																	
3. 機 種 の 選 定 3-1 大口径ボーリングマシンの選定 施工機械の選定は、次図を標準とする。  19kW級の選定基準 設計杭径：326 mm未満 掘削長：25m以下 30kW級の選定基準 設計杭径：326 mm以上 510 mm以下 掘削長：35m以下 又は 設計杭径：326 mm未満 掘削長：25m超 35m以下 (注) 現場条件により機械の搬入が困難で、これにより難い場合は別途考慮する。 図3-1 大口径ボーリングマシンの選定 3-2 補助機械の選定 鋼管、H形鋼の建込み、大口径ボーリングマシンの移動は付属のウインチで施工することを標準とするが、下記現場及び作業条件により補助機械が必要な場合は、別途計上する。 現場及び作業条件 ① 施工場所より10m以内に材料置場を設けることが出来ない場合。 ② 民家、構造物、その他の施設等を破損又は、危険にさらす恐れがある場合。 ③ 水路等の連続的な凸凹の障害により大口径ボーリングマシン付属ウインチによる施工が困難な場合。 表3.1 機種の選定 <table><tr><th>作業種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>資材等の現場内小運搬、鋼管、H形鋼の建込み、溶接、大口径ボーリングマシンの移動</td><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊</td><td>台</td><td>1</td><td>必要に応じて計上する</td></tr></table> (注) 1. ラフテレンクレーンは上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は別途考慮する。 2. ラフテレンクレーンは、賃料とする。 4. 編 成 人 員 大口径ボーリングマシンによる場所打杭工の編成人員は、次表を標準とする。 表4.1 編成人員 (人/日) <table><tr><th>職 種</th><th>土 木 一 般 世 話 役</th><th>特 殊 作 業 員</th><th>普 通 作 業 員</th></tr><tr><td>編 成 人 員</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr></table> (注) 難杭を施工する場合は、溶接工0.75人計上する。 5. 施 工 歩 掛 杭1本当り施工日数 (T_a) H形鋼杭の場合.....T_a=T₁+T₂+T₃ 鋼管杭の場合.....T_a=T₁+T₂+ (T₃・α) T₁: 杭1本当りの削孔日数 (日/本) T₂: 杭1本当りの準備・建込み等、充填日数 (日/本) T₃: 杭1本当りの溶接日数 (日/本) α: 鋼管板厚補正係数 Ⅱ-3-②-11		作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	資材等の現場内小運搬、鋼管、H形鋼の建込み、溶接、大口径ボーリングマシンの移動	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊	台	1	必要に応じて計上する	職 種	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	編 成 人 員	1	2	2	3. 機 種 の 選 定 3-1 大口径ボーリングマシンの選定 施工機械の選定は、次図を標準とする。  19kW級の選定基準 設計杭径：326 mm未満 掘削長：25m以下 30kW級の選定基準 設計杭径：326 mm以上 510 mm以下 掘削長：35m以下 又は 設計杭径：326 mm未満 掘削長：25m超 35m以下 (注) 現場条件により機械の搬入が困難で、これにより難い場合は別途考慮する。 図3-1 大口径ボーリングマシンの選定 現行どおり 表3.1 機種の選定 <table><tr><th>作業種別</th><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>資材等の現場内小運搬、鋼管、H形鋼の建込み、溶接、大口径ボーリングマシンの移動</td><td>ラフテレンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td><td>台</td><td>1</td><td>必要に応じて計上する</td></tr></table> (注) 1. ラフテレンクレーンは上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は別途考慮する。 2. ラフテレンクレーンは、賃料とする。 現行どおり 5. 施 工 歩 掛 杭1本当り施工日数 (T_c) H形鋼杭の場合.....T_c=T₁+T₂+T₃ 鋼管杭の場合.....T_c=T₁+T₂+ (T₃・α) T₁: 杭1本当りの削孔日数 (日/本) T₂: 杭1本当りの準備・建込み等、充填日数 (日/本) T₃: 杭1本当りの溶接日数 (日/本) α: 鋼管板厚補正係数		作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	資材等の現場内小運搬、鋼管、H形鋼の建込み、溶接、大口径ボーリングマシンの移動	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	台	1	必要に応じて計上する	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																															
資材等の現場内小運搬、鋼管、H形鋼の建込み、溶接、大口径ボーリングマシンの移動	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊	台	1	必要に応じて計上する																															
職 種	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																	
編 成 人 員	1	2	2																																	
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																															
資材等の現場内小運搬、鋼管、H形鋼の建込み、溶接、大口径ボーリングマシンの移動	ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	台	1	必要に応じて計上する																															
積算上の注意事項			(控え頁) 1/9																																	

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																											
現 行				改 正				備 考																																																																									
(注) T₃は立継溶接(※₁)により継杭を施工する場合に計上する。 なお、機械式継手(※₂)により継杭を施工する場合も適用出来るが、T₃及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。 ※₁立継溶接・・・・・・鋼材を大口径ボーリングマシンのウインチ等で建込みながら溶接する施工方法。 ※₂機械式継手・・・・・・あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により嵌合させる構造のもの。 ① 杭1本当りの削孔日数(T₁) <table><tr><th colspan="6">表5. 1 土質毎の削孔日数(T₁) (日／m)</th></tr><tr><th>土質・岩質分類 ボーリングマシン</th><th>レキ質土 軟岩(I)</th><th>砂及び砂質土 粘性土</th><th>岩塊・玉石</th><th>軟岩(II)</th><th>硬 岩</th></tr><tr><td>19kW級</td><td rowspan="2">0.15</td><td rowspan="2">0.07</td><td rowspan="2">0.24</td><td rowspan="2">0.34</td><td rowspan="2">0.44</td></tr><tr><td>30kW級</td></tr></table> (注) 1. 土質毎の削孔日数(T_a)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。 T₁=T_{a1}×ℓ₁+T_{a2}×ℓ₂+T_{a3}×ℓ₃+T_{a4}×ℓ₄+・・・ T_{a_n}:各土質毎の削孔日数(日／m) ℓ_n:各土質の掘削長(m) 2. T₁は小数点第2位とし、小数点第3位を四捨五入する。 (例) 大口径ボーリングマシン19kW級を使用してレキ質土5m、砂質土の層10mを施工した場合 T₁=0.15(日／m)×5(m)+0.07(日／m)×10(m)=1.45 ② 杭1本当りの準備・建込み等、充填日数(T₂) 杭1本当りの準備(足場作り、1回目のビット取付、大口径ボーリングマシンの移動、芯出し)、鋼管・H形鋼建込、孔内洗浄、ロッド継足し・引抜き、モルタル及び中詰コンクリート打設の施工日数は次表とする。 <table><tr><th colspan="6">表5. 2 杭種毎の準備・建込み等、充填日数(T₂) (日／本)</th></tr><tr><th>掘削長(m) 設計杭径(mm) 杭 種</th><th></th><th>9.0以下</th><th>9.1～18.0</th><th>18.1～27.0</th><th>27.1～35.0</th></tr><tr><td rowspan="2">H 形 鋼</td><td>190以上326未満</td><td>0.62</td><td>0.94</td><td>1.24</td><td>1.52</td></tr><tr><td>326以上510以下</td><td>0.67</td><td>1.07</td><td>1.45</td><td>1.81</td></tr><tr><td rowspan="2">鋼 管</td><td>190以上326未満</td><td>0.63</td><td>0.94</td><td>1.27</td><td>1.57</td></tr><tr><td>326以上510以下</td><td>0.70</td><td>1.09</td><td>1.50</td><td>1.88</td></tr></table> (注) 1. 機械の1回の移動距離は3m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。 2. 足場作りとは、大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の仮設足場は含まない。 3. 削孔途中でのロッド引抜きや挿入及びロッドの先端補修を含む。 4. 補助機械の有無にかかわらず適用出来る。 5. モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しを含む時間である。 6. 中詰コンクリートは、トラックミキサ等による打設時間とする。				表5. 1 土質毎の削孔日数(T ₁) (日／m)						土質・岩質分類 ボーリングマシン	レキ質土 軟岩(I)	砂及び砂質土 粘性土	岩塊・玉石	軟岩(II)	硬 岩	19kW級	0.15	0.07	0.24	0.34	0.44	30kW級	表5. 2 杭種毎の準備・建込み等、充填日数(T ₂) (日／本)						掘削長(m) 設計杭径(mm) 杭 種		9.0以下	9.1～18.0	18.1～27.0	27.1～35.0	H 形 鋼	190以上326未満	0.62	0.94	1.24	1.52	326以上510以下	0.67	1.07	1.45	1.81	鋼 管	190以上326未満	0.63	0.94	1.27	1.57	326以上510以下	0.70	1.09	1.50	1.88	(注) T₃は立継溶接(※₁)により継杭を施工する場合に計上する。 なお、機械式継手(※₂)により継杭を施工する場合も適用出来るが、T₃及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。 ※₁立継溶接・・・・・・鋼材を大口径ボーリングマシンのウインチ等で建込みながら溶接する施工方法。 ※₂機械式継手・・・・・・あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により嵌合させる構造のもの。 ① 杭1本当りの削孔日数(T₁) <table><tr><th colspan="6">表5. 1 土質毎の削孔日数(T₁) (日／m)</th></tr><tr><th>土質・岩質分類 ボーリングマシン</th><th>レキ質土 軟岩(I)</th><th>砂及び砂質土 粘性土</th><th>岩塊・玉石</th><th>軟岩(II)</th><th>硬 岩</th></tr><tr><td>通称19kW級</td><td rowspan="2">0.15</td><td rowspan="2">0.07</td><td rowspan="2">0.24</td><td rowspan="2">0.34</td><td rowspan="2">0.44</td></tr><tr><td>通称30kW級</td></tr></table> (注) 1. 土質毎の削孔日数(T_a)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。 T₁=T_{a1}×ℓ₁+T_{a2}×ℓ₂+T_{a3}×ℓ₃+T_{a4}×ℓ₄+・・・ T_{a_n}:各土質毎の削孔日数(日／m) ℓ_n:各土質の掘削長(m) 2. T₁は小数点第2位とし、小数点第3位を四捨五入する。 (例) 大口径ボーリングマシン通称19kW級を使用してレキ質土5m、砂質土の層10mを施工した場合 T₁=0.15(日／m)×5(m)+0.07(日／m)×10(m)=1.45 現行どおり (注) 1. 機械の1回の移動距離は3m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。 2. 足場作りとは、大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の仮設足場は含まない。 3. 削孔途中でのロッド引抜きや挿入及びロッドの先端補修を含む。 4. 補助機械の有無にかかわらず適用出来る。 5. モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しを含む時間である。 6. 中詰コンクリートは、トラックミキサ等による打設時間とする。				表5. 1 土質毎の削孔日数(T ₁) (日／m)						土質・岩質分類 ボーリングマシン	レキ質土 軟岩(I)	砂及び砂質土 粘性土	岩塊・玉石	軟岩(II)	硬 岩	通称19kW級	0.15	0.07	0.24	0.34	0.44	通称30kW級	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
表5. 1 土質毎の削孔日数(T ₁) (日／m)																																																																																	
土質・岩質分類 ボーリングマシン	レキ質土 軟岩(I)	砂及び砂質土 粘性土	岩塊・玉石	軟岩(II)	硬 岩																																																																												
19kW級	0.15	0.07	0.24	0.34	0.44																																																																												
30kW級																																																																																	
表5. 2 杭種毎の準備・建込み等、充填日数(T ₂) (日／本)																																																																																	
掘削長(m) 設計杭径(mm) 杭 種		9.0以下	9.1～18.0	18.1～27.0	27.1～35.0																																																																												
H 形 鋼	190以上326未満	0.62	0.94	1.24	1.52																																																																												
	326以上510以下	0.67	1.07	1.45	1.81																																																																												
鋼 管	190以上326未満	0.63	0.94	1.27	1.57																																																																												
	326以上510以下	0.70	1.09	1.50	1.88																																																																												
表5. 1 土質毎の削孔日数(T ₁) (日／m)																																																																																	
土質・岩質分類 ボーリングマシン	レキ質土 軟岩(I)	砂及び砂質土 粘性土	岩塊・玉石	軟岩(II)	硬 岩																																																																												
通称19kW級	0.15	0.07	0.24	0.34	0.44																																																																												
通称30kW級																																																																																	
積算上の注意事項								(控え頁) 2／9																																																																									

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																																																																																															
③ 杭 1 本 当 り の 溶 接 日 数 (T₃) <table><caption>表 5. 3 H 形 鋼 (T₃)</caption><tr><th colspan="2"></th><th colspan="3">(日 / 本)</th></tr><tr><th>H 形 鋼 規 格 (mm)</th><th>溶 接 回 数 (標 準)</th><th>150 ～ 175</th><th>200 ～ 250</th><th>300 ～ 350</th></tr><tr><td>杭 長</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>L ≦ 12 m</td><td>0 回</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>12 m < L ≦ 24 m</td><td>1 回</td><td>0. 08</td><td>0. 20</td><td>0. 43</td></tr><tr><td>24 m < L ≦ 35 m</td><td>2 回</td><td>0. 16</td><td>0. 40</td><td>0. 86</td></tr></table> <table><caption>表 5. 4 鋼 管 (T₃)</caption><tr><th colspan="2"></th><th colspan="4">(日 / 本)</th></tr><tr><th>鋼 管 外 径 (mm)</th><th>溶 接 回 数 (標 準)</th><th>190 以 上 300 未 満</th><th>300 以 上 400 未 満</th><th>400 以 上 500 未 満</th><th>500 以 上 510 以 下</th></tr><tr><td>杭 長</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>L ≦ 12 m</td><td>0 回</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>12 m < L ≦ 24 m</td><td>1 回</td><td>0. 08</td><td>0. 12</td><td>0. 15</td><td>0. 18</td></tr><tr><td>24 m < L ≦ 35 m</td><td>2 回</td><td>0. 16</td><td>0. 24</td><td>0. 30</td><td>0. 36</td></tr></table> なお、現場条件により溶接回数（標準）により難しい場合は、表 5. 5 より 1 回 当 り の 溶 接 日 数 を 加 減 す る 。 <table><caption>表 5. 5 1 回 当 り の 溶 接 日 数</caption><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">(日 / 回)</th></tr><tr><th>H 形 鋼 規 格 (mm)</th><th>1 回 当 り 溶 接 日 数</th><th>鋼 管 外 径 (mm)</th><th>1 回 当 り 溶 接 日 数</th></tr><tr><td>150 ～ 175</td><td>0. 08</td><td>190 以 上 300 未 満</td><td>0. 08</td></tr><tr><td>200 ～ 250</td><td>0. 20</td><td>300 以 上 400 未 満</td><td>0. 12</td></tr><tr><td>300 ～ 350</td><td>0. 43</td><td>400 以 上 500 未 満</td><td>0. 15</td></tr><tr><td></td><td></td><td>500 以 上 510 以 下</td><td>0. 18</td></tr></table> (例 1) 鋼 管 外 径 190 mm 杭 長 30 m 溶 接 回 数 が 3 回 の 場 合 (標 準 2 回) 0. 16 (日 / 本 ・ 標 準) + 0. 08 (日 / 回 ・ 1 回 当 り) = 0. 24 (日 / 本) (例 2) 鋼 管 外 径 190 mm 杭 長 9 m 溶 接 回 数 が 1 回 の 場 合 (標 準 0 回) 0 (日 / 本 ・ 標 準) + 0. 08 (日 / 回 ・ 1 回 当 り) = 0. 08 (日 / 本) ④ 鋼 管 板 厚 補 正 係 数 (α) <table><caption>表 5. 6 鋼 管 板 厚 補 正 係 数 (α)</caption><tr><th>板 厚 (mm)</th><th>～ 15</th><th>16 ～ 20</th><th>21 ～ 25</th><th>26 ～ 30</th></tr><tr><th>係 数</th><td>1. 00</td><td>1. 60</td><td>2. 15</td><td>2. 86</td></tr></table> (注) 板 厚 30 mm を 超 え る も の に つ い て は 、 別 途 考 慮 す る 。 6. 杭 1 本 当 り モ ル タ ル 及 び コ ン ク リ ー ト 使 用 量 杭 1 本 当 り モ ル タ ル 及 び コ ン ク リ ー ト 使 用 量 は 、 次 式 と す る 。 た だ し 、 H 形 鋼 を 使 用 す る 場 合 は モ ル タ ル 杭 を 標 準 と す る 。 6－1 モ ル タ ル を 使 用 す る 場 合 $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times \varnothing \times (1 + K_1) \text{ (m }^3 \text{ / 本)}$ Q : 杭 1 本 当 り モ ル タ ル 使 用 量 (m³ / 本) D : 削 孔 径 (m) ∅ : 打 設 長 (m) K₁ : モ ル タ ル ロ ス 率						(日 / 本)			H 形 鋼 規 格 (mm)	溶 接 回 数 (標 準)	150 ～ 175	200 ～ 250	300 ～ 350	杭 長					L ≦ 12 m	0 回	－	－	－	12 m < L ≦ 24 m	1 回	0. 08	0. 20	0. 43	24 m < L ≦ 35 m	2 回	0. 16	0. 40	0. 86			(日 / 本)				鋼 管 外 径 (mm)	溶 接 回 数 (標 準)	190 以 上 300 未 満	300 以 上 400 未 満	400 以 上 500 未 満	500 以 上 510 以 下	杭 長						L ≦ 12 m	0 回	－	－	－	－	12 m < L ≦ 24 m	1 回	0. 08	0. 12	0. 15	0. 18	24 m < L ≦ 35 m	2 回	0. 16	0. 24	0. 30	0. 36			(日 / 回)		H 形 鋼 規 格 (mm)	1 回 当 り 溶 接 日 数	鋼 管 外 径 (mm)	1 回 当 り 溶 接 日 数	150 ～ 175	0. 08	190 以 上 300 未 満	0. 08	200 ～ 250	0. 20	300 以 上 400 未 満	0. 12	300 ～ 350	0. 43	400 以 上 500 未 満	0. 15			500 以 上 510 以 下	0. 18	板 厚 (mm)	～ 15	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	係 数	1. 00	1. 60	2. 15	2. 86	現 行 ど お り ④ 鋼 管 板 厚 補 正 係 数 (α) <table><caption>表 5. 6 鋼 管 板 厚 補 正 係 数 (α)</caption><tr><th>板 厚 (mm)</th><th>～ 15</th><th>16 ～ 20</th><th>21 ～ 25</th><th>26 ～ 30</th></tr><tr><th>係 数</th><td>1. 00</td><td>1. 60</td><td>2. 15</td><td>2. 86</td></tr></table> (注) 板 厚 30 mm を 超 え る も の に つ い て は 、 別 途 考 慮 す る 。 6. 杭 1 本 当 り モ ル タ ル 及 び コ ン ク リ ー ト 使 用 量 杭 1 本 当 り モ ル タ ル 及 び コ ン ク リ ー ト 使 用 量 は 、 次 式 と す る 。 た だ し 、 H 形 鋼 を 使 用 す る 場 合 は モ ル タ ル 杭 を 標 準 と す る 。 6－1 モ ル タ ル を 使 用 す る 場 合 $Q = \frac{\pi}{4} \times D^2 \times \varnothing \times (1 + K_1) \text{ (m }^3 \text{ / 本)}$ Q : 杭 1 本 当 り モ ル タ ル 使 用 量 (m³ / 本) D : 削 孔 径 (m) ∅ : 打 設 長 (m) K₁ : モ ル タ ル ロ ス 率				板 厚 (mm)	～ 15	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	係 数	1. 00	1. 60	2. 15	2. 86	記 載 の 修 正 削 除 (歩 掛 改 定 に 伴 う)	
						(日 / 本)																																																																																																																	
H 形 鋼 規 格 (mm)	溶 接 回 数 (標 準)	150 ～ 175	200 ～ 250	300 ～ 350																																																																																																																			
杭 長																																																																																																																							
L ≦ 12 m	0 回	－	－	－																																																																																																																			
12 m < L ≦ 24 m	1 回	0. 08	0. 20	0. 43																																																																																																																			
24 m < L ≦ 35 m	2 回	0. 16	0. 40	0. 86																																																																																																																			
		(日 / 本)																																																																																																																					
鋼 管 外 径 (mm)	溶 接 回 数 (標 準)	190 以 上 300 未 満	300 以 上 400 未 満	400 以 上 500 未 満	500 以 上 510 以 下																																																																																																																		
杭 長																																																																																																																							
L ≦ 12 m	0 回	－	－	－	－																																																																																																																		
12 m < L ≦ 24 m	1 回	0. 08	0. 12	0. 15	0. 18																																																																																																																		
24 m < L ≦ 35 m	2 回	0. 16	0. 24	0. 30	0. 36																																																																																																																		
		(日 / 回)																																																																																																																					
H 形 鋼 規 格 (mm)	1 回 当 り 溶 接 日 数	鋼 管 外 径 (mm)	1 回 当 り 溶 接 日 数																																																																																																																				
150 ～ 175	0. 08	190 以 上 300 未 満	0. 08																																																																																																																				
200 ～ 250	0. 20	300 以 上 400 未 満	0. 12																																																																																																																				
300 ～ 350	0. 43	400 以 上 500 未 満	0. 15																																																																																																																				
		500 以 上 510 以 下	0. 18																																																																																																																				
板 厚 (mm)	～ 15	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30																																																																																																																			
係 数	1. 00	1. 60	2. 15	2. 86																																																																																																																			
板 厚 (mm)	～ 15	16 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30																																																																																																																			
係 数	1. 00	1. 60	2. 15	2. 86																																																																																																																			
積 算 上 の 注 意 事 項				(控 え 頁) 3 / 9																																																																																																																			

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																													
現 行				改 正				備 考																																																													
表6. 1 モルタルロス率(鋼管・H形鋼の場合)(K₁) <table><tr><td>モルタルロス率 (鋼管・H形鋼の場合)</td><td>+0.1</td></tr></table> 6－2 コンクリート（生コン）を使用する場合 $Q_1=\frac{\pi}{4}\times(D_1^2-D^2)\times\varnothing\times(1+K_2)\text{ (m}^3\text{/本)}$ $Q_2=\frac{\pi}{4}\times D^2\times\varnothing\times(1+K_3)\text{ (m}^3\text{/本)}$ Q₁:モルタル使用量 (m³/本) Q₂:中詰コンクリート使用量 (m³/本) D:設計杭径 (m) D₁:削孔径 (m) ∅:打設長 (m) K₂:モルタルロス率 K₃:中詰コンクリートロス率 表6. 2 モルタルロス率(K₂) <table><tr><td>モルタルロス率</td><td>+0.1</td></tr></table> 表6. 3 中詰コンクリートロス率(K₃) <table><tr><td>中詰めコンクリートロス率</td><td>+0.02</td></tr></table> 7. やぐらの設置・撤去 やぐらの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらを解体しなければ移動出来ない場合に計上する。 表7. 1 やぐらの設置・撤去歩掛(ラフテレーンクレーン使用の場合) (1基1回当たり) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.0</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)25t吊</td><td>日</td><td>1.0</td></tr></table> (注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. ラフテレーンクレーンは、上表を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。				モルタルロス率 (鋼管・H形鋼の場合)	+0.1	モルタルロス率	+0.1	中詰めコンクリートロス率	+0.02	名 称	規 格	単位	数量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	と び 工		人	1.0	特 殊 作 業 員		人	2.0	普 通 作 業 員		人	2.0	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)25t吊	日	1.0	表6. 1 モルタルロス率(鋼管・H形鋼の場合)(K₁) <table><tr><td>モルタルロス率 (鋼管・H形鋼の場合)</td><td>+0.1</td></tr></table> 6－2 コンクリート（生コン）を使用する場合 $Q_1=\frac{\pi}{4}\times(D_1^2-D^2)\times\varnothing\times(1+K_2)\text{ (m}^3\text{/本)}$ $Q_2=\frac{\pi}{4}\times D^2\times\varnothing\times(1+K_3)\text{ (m}^3\text{/本)}$ Q₁:モルタル使用量 (m³/本) Q₂:中詰コンクリート使用量 (m³/本) D:設計杭径 (m) D₁:削孔径 (m) ∅:打設長 (m) K₂:モルタルロス率 K₃:中詰コンクリートロス率 表6. 2 モルタルロス率(K₂) <table><tr><td>モルタルロス率</td><td>+0.1</td></tr></table> 表6. 3 中詰コンクリートロス率(K₃) <table><tr><td>中詰めコンクリートロス率</td><td>+0.02</td></tr></table> 7. やぐらの設置・撤去 やぐらの設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらを解体しなければ移動出来ない場合に計上する。 表7. 1 やぐらの設置・撤去歩掛(ラフテレーンクレーン使用の場合) (1基1回当たり) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.0</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>2.0</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td><td>日</td><td>1.0</td></tr></table> (注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. ラフテレーンクレーンは、上表を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。				モルタルロス率 (鋼管・H形鋼の場合)	+0.1	モルタルロス率	+0.1	中詰めコンクリートロス率	+0.02	名 称	規 格	単位	数量	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0	と び 工		人	1.0	特 殊 作 業 員		人	2.0	普 通 作 業 員		人	2.0	ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	1.0	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	
モルタルロス率 (鋼管・H形鋼の場合)	+0.1																																																																				
モルタルロス率	+0.1																																																																				
中詰めコンクリートロス率	+0.02																																																																				
名 称	規 格	単位	数量																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																																																		
と び 工		人	1.0																																																																		
特 殊 作 業 員		人	2.0																																																																		
普 通 作 業 員		人	2.0																																																																		
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制)25t吊	日	1.0																																																																		
モルタルロス率 (鋼管・H形鋼の場合)	+0.1																																																																				
モルタルロス率	+0.1																																																																				
中詰めコンクリートロス率	+0.02																																																																				
名 称	規 格	単位	数量																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人	1.0																																																																		
と び 工		人	1.0																																																																		
特 殊 作 業 員		人	2.0																																																																		
普 通 作 業 員		人	2.0																																																																		
ラフテレーンクレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日	1.0																																																																		
積算上の注意事項								(控え頁) 4／9																																																													

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																																													
		現 行																																																																																															
現 行		改 正		備 考																																																																																													
表7.2 やぐらの設置・撤去歩掛(索道使用の場合) (1基1回当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>3.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>2.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>3.5</td></tr><tr><td>ウインチ運転</td><td>開放型(電動)・単綱 巻上能力2.8t×30m／min 巻取容量φ22×200m</td><td>日</td><td>1.5</td></tr><tr><td>発動発電機運転</td><td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)</td><td>〃</td><td>1.5</td></tr></table> (注) 1. 発動発電機は、賃料とする。 2. 索道の設置・撤去が必要な場合は、別途計上する。 8. ビット等損耗費 ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、機械損料の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、ビット等損耗費については、杭1本当りで算出する。 表8.1 ビット等損耗费率(P) (1m当り損耗费率) <table><tr><th>設計杭径(mm) \ 土質</th><th>砂及び砂質土 粘性土</th><th>レキ質土 軟岩 (Ⅰ)</th><th>軟岩 (Ⅱ)</th><th>硬 岩</th><th>岩 塊 玉 石</th><th>地 石</th></tr><tr><td>190以上226未満</td><td>15%</td><td colspan="2">18%</td><td colspan="3">30%</td></tr><tr><td>226以上276未満</td><td rowspan="3">20%</td><td colspan="2">30%</td><td colspan="3">60%</td></tr><tr><td>276以上326未満</td><td colspan="2" rowspan="2">45%</td><td colspan="3" rowspan="2">90%</td></tr><tr><td>326以上376未満</td></tr><tr><td>376以上426未満</td><td rowspan="2">25%</td><td colspan="2">60%</td><td colspan="3" rowspan="2">150%</td></tr><tr><td>426以上510以下</td><td colspan="2">80%</td></tr></table> (注) 1. ビット等損耗费率は、掘削する土質毎に損耗费率を加重平均して算出する。 $\text{損耗费率}P=\frac{P_1\times\theta_1+P_2\times\theta_2\cdots}{\theta_1+\theta_2\cdots}$ ここで、P_n：各土質毎のビット等損耗费率 θ_n：各土質の掘削長 (m) 2. Pは整数とし、小数点第1位を四捨五入する。 (例) 設計杭径350mm、砂質土2m、レキ質土15m、岩塊・玉石3mの場合 $P=\frac{20\%\times2\text{m}+45\%\times15\text{m}+90\%\times3\text{m}}{2\text{m}+15\text{m}+3\text{m}}=49.3\cdots\approx49\%$ 3. 補助機械賃料、やぐらの設置・撤去及び仮設足場の設置・撤去費用は、ビット損耗費対象額としない。 9. 諸 雑 費 諸雑費は、大口径ボーリングマシンの足場材、溶接機及び溶接棒、注入管、やぐら及び水槽損料、グラウトポンプ (試験ポンプ)、サンドポンプ、ペントナイトミキサ、グラウトポンプ (モルタル圧送用)、グラウトミキサ、サイクロンスクリーン、給水ポンプの損料及び燃料費、ペントナイトの材料費、電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 Ⅱ-3-②-15		名 称	規 格		単位	数量	土木一般世話役		人	1.0	と び 工		〃	3.0	特 殊 作 業 員		〃	2.5	普 通 作 業 員		〃	3.5	ウインチ運転	開放型(電動)・単綱 巻上能力2.8t×30m／min 巻取容量φ22×200m	日	1.5	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	〃	1.5	設計杭径(mm) \ 土質	砂及び砂質土 粘性土	レキ質土 軟岩 (Ⅰ)	軟岩 (Ⅱ)	硬 岩	岩 塊 玉 石	地 石	190以上226未満	15%	18%		30%			226以上276未満	20%	30%		60%			276以上326未満	45%		90%			326以上376未満	376以上426未満	25%	60%		150%			426以上510以下	80%		表7.2 やぐらの設置・撤去歩掛(索道使用の場合) (1基1回当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>とび工</td><td></td><td>〃</td><td>3.0</td></tr><tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>〃</td><td>2.5</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>〃</td><td>3.5</td></tr><tr><td>ウインチ運転</td><td>開放型(電動)・単綱 巻上能力2.8t×30m／min 巻取容量φ22×200m</td><td>日</td><td>1.5</td></tr><tr><td>発動発電機運転</td><td>ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)</td><td>〃</td><td>1.5</td></tr></table> (注) 1. 発動発電機は、賃料とする。 2. 索道の設置・撤去が必要な場合は、別途計上する。 現行どおり (注) 1. ビット等損耗费率は、掘削する土質毎に損耗费率を加重平均して算出する。 $\text{損耗费率}P=\frac{P_1\times\theta_1+P_2\times\theta_2\cdots}{\theta_1+\theta_2\cdots}$ ここで、P_n：各土質毎のビット等損耗费率 θ_n：各土質の掘削長 (m) 2. Pは整数とし、小数点第1位を四捨五入する。 (例) 設計杭径350mm、砂質土2m、レキ質土15m、岩塊・玉石3mの場合 $P=\frac{20\%\times2\text{m}+45\%\times15\text{m}+90\%\times3\text{m}}{2\text{m}+15\text{m}+3\text{m}}=49.3\cdots\approx49\%$ 3. 補助機械賃料、やぐらの設置・撤去及び仮設足場の設置・撤去費用は、ビット損耗費対象額としない。	名 称	規 格	単位	数量	土木一般世話役		人	1.0	とび工		〃	3.0	特殊作業員		〃	2.5	普通作業員		〃	3.5	ウインチ運転	開放型(電動)・単綱 巻上能力2.8t×30m／min 巻取容量φ22×200m	日	1.5	発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	〃	1.5
名 称	規 格	単位	数量																																																																																														
土木一般世話役		人	1.0																																																																																														
と び 工		〃	3.0																																																																																														
特 殊 作 業 員		〃	2.5																																																																																														
普 通 作 業 員		〃	3.5																																																																																														
ウインチ運転	開放型(電動)・単綱 巻上能力2.8t×30m／min 巻取容量φ22×200m	日	1.5																																																																																														
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	〃	1.5																																																																																														
設計杭径(mm) \ 土質	砂及び砂質土 粘性土	レキ質土 軟岩 (Ⅰ)	軟岩 (Ⅱ)	硬 岩	岩 塊 玉 石	地 石																																																																																											
190以上226未満	15%	18%		30%																																																																																													
226以上276未満	20%	30%		60%																																																																																													
276以上326未満		45%		90%																																																																																													
326以上376未満																																																																																																	
376以上426未満	25%	60%		150%																																																																																													
426以上510以下		80%																																																																																															
名 称	規 格	単位	数量																																																																																														
土木一般世話役		人	1.0																																																																																														
とび工		〃	3.0																																																																																														
特殊作業員		〃	2.5																																																																																														
普通作業員		〃	3.5																																																																																														
ウインチ運転	開放型(電動)・単綱 巻上能力2.8t×30m／min 巻取容量φ22×200m	日	1.5																																																																																														
発動発電機運転	ディーゼルエンジン駆動・排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	〃	1.5																																																																																														
積算上の注意事項				(控え頁) 5／9																																																																																													

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																																																																																																																											
現 行				改 正		備 考																																																																																																																																																																																																																																									
11. 単 価 表 (1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭 1 本当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230610</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>Tc×1</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>Tc×2</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>Tc×2</td><td>〃</td></tr><tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>〃</td><td>T₃×0.75</td><td>継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による</td></tr><tr><td>中 詰 材 料</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>モルタル・コンクリート</td></tr><tr><td>鋼 管 ・ H 形 鋼 等</td><td></td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>大口径ボーリングマシン運転</td><td></td><td>日</td><td>T₁+T₂</td><td>機械損料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊</td><td>〃</td><td>T₂+T₃</td><td>必要に応じて計上 機械賃料</td></tr><tr><td>ビ ッ ト 等 損 耗 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表8.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>表9.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 泥土処理費が必要な場合は、別途計上とする。 2. 鋼管における数量については、「T₃×α×0.75」とする。 3. 継杭に機械式継手を施工する場合は、T₃及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。 (2) やぐらの設置・撤去単価表（ラフテレーンクレーン使用の場合） <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230630</td></tr><tr><td colspan="5">(1基1回当り)</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表7.1</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊</td><td>日</td><td></td><td>表7.1 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> II-3-②-17				施工歩掛コード		WB230610			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	Tc×1	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	Tc×2	〃	普 通 作 業 員		〃	Tc×2	〃	溶 接 工		〃	T ₃ ×0.75	継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による	中 詰 材 料		m ³		モルタル・コンクリート	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1		大口径ボーリングマシン運転		日	T ₁ +T ₂	機械損料	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊	〃	T ₂ +T ₃	必要に応じて計上 機械賃料	ビ ッ ト 等 損 耗 費		式	1	表8.1	諸 雑 費		〃	1	表9.1	計					施工歩掛コード		WB230630			(1基1回当り)					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表7.1	と び 工		〃		〃	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊	日		表7.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					11. 単 価 表 (1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230610</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>Tc×1</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>Tc×2</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>Tc×2</td><td>〃</td></tr><tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>〃</td><td>T₃×0.75</td><td>継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による</td></tr><tr><td>中 詰 材 料</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>モルタル・コンクリート</td></tr><tr><td>鋼 管 ・ H 形 鋼 等</td><td></td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>大口径ボーリングマシン運転</td><td></td><td>日</td><td>T₁+T₂</td><td>機械損料</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td><td>〃</td><td>T₂+T₃</td><td>必要に応じて計上 機械賃料</td></tr><tr><td>ビ ッ ト 等 損 耗 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表8.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>表9.1</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 泥土処理費が必要な場合は、別途計上とする。 2. 鋼管における数量については、「T₃×α×0.75」とする。 3. 継杭に機械式継手を施工する場合は、T₃及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。 (2) やぐらの設置・撤去単価表（ラフテレーンクレーン使用の場合） <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB230630</td></tr><tr><td colspan="5">(1基1回当り)</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表7.1</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊</td><td>日</td><td></td><td>表7.1 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				施工歩掛コード		WB230610			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	Tc×1	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	Tc×2	〃	普 通 作 業 員		〃	Tc×2	〃	溶 接 工		〃	T ₃ ×0.75	継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による	中 詰 材 料		m ³		モルタル・コンクリート	鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1		大口径ボーリングマシン運転		日	T ₁ +T ₂	機械損料	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	〃	T ₂ +T ₃	必要に応じて計上 機械賃料	ビ ッ ト 等 損 耗 費		式	1	表8.1	諸 雑 費		〃	1	表9.1	計					施工歩掛コード		WB230630			(1基1回当り)					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表7.1	と び 工		〃		〃	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		表7.1 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)	記載の修正削除 (歩掛改定に伴う)
施工歩掛コード		WB230610																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人	Tc×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃	Tc×2	〃																																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	Tc×2	〃																																																																																																																																																																																																																																											
溶 接 工		〃	T ₃ ×0.75	継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による																																																																																																																																																																																																																																											
中 詰 材 料		m ³		モルタル・コンクリート																																																																																																																																																																																																																																											
鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1																																																																																																																																																																																																																																												
大口径ボーリングマシン運転		日	T ₁ +T ₂	機械損料																																																																																																																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊	〃	T ₂ +T ₃	必要に応じて計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																											
ビ ッ ト 等 損 耗 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		〃	1	表9.1																																																																																																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																																																																																																															
施工歩掛コード		WB230630																																																																																																																																																																																																																																													
(1基1回当り)																																																																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人		表7.1																																																																																																																																																																																																																																											
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 25t吊	日		表7.1 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																															
施工歩掛コード		WB230610																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人	Tc×1	表4.1																																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃	Tc×2	〃																																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	Tc×2	〃																																																																																																																																																																																																																																											
溶 接 工		〃	T ₃ ×0.75	継杭の場合に計上 鋼管の場合は(注)2による																																																																																																																																																																																																																																											
中 詰 材 料		m ³		モルタル・コンクリート																																																																																																																																																																																																																																											
鋼 管 ・ H 形 鋼 等		本	1																																																																																																																																																																																																																																												
大口径ボーリングマシン運転		日	T ₁ +T ₂	機械損料																																																																																																																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	〃	T ₂ +T ₃	必要に応じて計上 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																											
ビ ッ ト 等 損 耗 費		式	1	表8.1																																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		〃	1	表9.1																																																																																																																																																																																																																																											
計																																																																																																																																																																																																																																															
施工歩掛コード		WB230630																																																																																																																																																																																																																																													
(1基1回当り)																																																																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																											
土 木 一 般 世 話 役		人		表7.1																																																																																																																																																																																																																																											
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																											
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		表7.1 機械賃料																																																																																																																																																																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																															
積算上の注意事項		(控え頁) 6／9																																																																																																																																																																																																																																													

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																																																																																										
		現 行																																																																																																																																												
現 行		改 正		備 考																																																																																																																																										
(3) やぐらの設置・撤去単価表 (索道使用の場合) <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230630</td></tr><tr><td colspan="4">(1基1回当り)</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表7.2</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr><tr><td>ウ イ ン チ 運 転</td><td>開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td><td>日</td><td></td><td>表7.2 機械損料</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機 運 転</td><td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)</td><td>"</td><td></td><td>表7.2 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (4) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>大口径ボーリングマシン</td><td>図3-1</td><td>機-25</td><td>機械損料数量→ 1.34</td></tr><tr><td>ウ イ ン チ</td><td>開放型(電動)・単胴・ 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td><td>機-25</td><td>機械損料数量→ 1.42</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)</td><td>機-16</td><td>燃料消費量 75 kVA→ 37 100 kVA→ 60 機械賃料数量→ 1.30</td></tr></table>		施工歩掛コード			WB230630		(1基1回当り)				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表7.2	と び 工		"		"	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	ウ イ ン チ 運 転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日		表7.2 機械損料	発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	"		表7.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	大口径ボーリングマシン	図3-1	機-25	機械損料数量→ 1.34	ウ イ ン チ	開放型(電動)・単胴・ 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ 1.42	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	機-16	燃料消費量 75 kVA→ 37 100 kVA→ 60 機械賃料数量→ 1.30	(2) やぐらの設置・撤去単価表 (索道使用の場合) <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WD230630</td></tr><tr><td colspan="4">(1基1回当り)</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表7.2</td></tr><tr><td>と び 工</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>"</td><td></td><td>"</td></tr><tr><td>ウ イ ン チ 運 転</td><td>開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td><td>日</td><td></td><td>表7.2 機械損料</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機 運 転</td><td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)</td><td>"</td><td></td><td>表7.2 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指 定 事 項</td></tr><tr><td>大口径ボーリングマシン</td><td>図3-1</td><td>機-25</td><td>機械損料数量→ 1.34</td></tr><tr><td>ウ イ ン チ</td><td>開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m</td><td>機-25</td><td>機械損料数量→ 1.42</td></tr><tr><td>発 動 発 電 機</td><td>ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)</td><td>機-16</td><td>燃料消費量 75 kVA→ 37 100 kVA→ 60 機械賃料数量→ 1.30</td></tr></table>		施工歩掛コード		WD230630		(1基1回当り)				名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表7.2	と び 工		"		"	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	ウ イ ン チ 運 転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日		表7.2 機械損料	発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	"		表7.2 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	大口径ボーリングマシン	図3-1	機-25	機械損料数量→ 1.34	ウ イ ン チ	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ 1.42	発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	機-16	燃料消費量 75 kVA→ 37 100 kVA→ 60 機械賃料数量→ 1.30
施工歩掛コード		WB230630																																																																																																																																												
(1基1回当り)																																																																																																																																														
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人		表7.2																																																																																																																																										
と び 工		"		"																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																										
ウ イ ン チ 運 転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日		表7.2 機械損料																																																																																																																																										
発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	"		表7.2 機械賃料																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																											
大口径ボーリングマシン	図3-1	機-25	機械損料数量→ 1.34																																																																																																																																											
ウ イ ン チ	開放型(電動)・単胴・ 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ 1.42																																																																																																																																											
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	機-16	燃料消費量 75 kVA→ 37 100 kVA→ 60 機械賃料数量→ 1.30																																																																																																																																											
施工歩掛コード		WD230630																																																																																																																																												
(1基1回当り)																																																																																																																																														
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人		表7.2																																																																																																																																										
と び 工		"		"																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																										
ウ イ ン チ 運 転	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	日		表7.2 機械損料																																																																																																																																										
発 動 発 電 機 運 転	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	"		表7.2 機械賃料																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																											
大口径ボーリングマシン	図3-1	機-25	機械損料数量→ 1.34																																																																																																																																											
ウ イ ン チ	開放型(電動)・単胴 巻上能力2.8t×30m/min 巻取容量φ22×200m	機-25	機械損料数量→ 1.42																																																																																																																																											
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 定格容量75 kVA (19kW級用) 定格容量100 kVA (30kW級用)	機-16	燃料消費量 75 kVA→ 37 100 kVA→ 60 機械賃料数量→ 1.30																																																																																																																																											
II-3-②-18																																																																																																																																														
積算上の注意事項				(控え頁) 7/9																																																																																																																																										

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
12. 施工単価入力基準表 (1) 場所打杭工 (大口径ボーリングマシン工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230610</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td colspan="2">J 5</td></tr><tr><td>杭種別</td><td>設計杭径</td><td>杭 1 本当りの レキ質土 ・軟岩(Ⅰ) の掘削長</td><td>杭 1 本当りの 砂及び砂質土 ・粘性土 の掘削長</td><td colspan="2">杭 1 本当りの 岩塊・玉石の 掘削長</td></tr><tr><td></td><td>(mm)</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td colspan="2">(m)</td></tr><tr><td>(表12.1)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td colspan="2">(実数入力)</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>J 6</td><td>J 7</td><td>J 8</td><td>J 9</td><td>J 10</td><td>J 11</td><td>J 12</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>杭 1 本当りの 軟岩(Ⅱ) の掘削長</td><td>杭 1 本当りの 硬岩の 掘削長</td><td>杭 1 本当りの 杭長</td><td>杭 1 本当りの 溶接回数</td><td>鋼管板厚 補正係数 (α)</td><td>モルタル 規格</td><td>コンクリート 規格</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>①標準 ②標準以外</td><td>(表12.2)</td><td>(表12.3)</td><td>(表12.4)</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>J 13</td><td>J 14</td><td>J 15</td><td>J 16</td><td colspan="3">J 17</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>H形鋼m当り 材料質量</td><td>鋼管杭m当り 材料質量</td><td>補助機械 の使用</td><td>ラフデレーン クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外</td><td colspan="3">コンクリート 夜間割増 の有無</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(t)</td><td>(t)</td><td>①有 ②無</td><td>(実数入力)</td><td colspan="3">①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td></td><td></td><td colspan="3"></td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で「①」を選択した場合は J 10, J 12, J 14, J 17 条件は入力する必要はない。 2. J 1 条件で「②」を選択した場合は J 12, J 13, J 17 条件は入力する必要はない。 3. J 1 条件で「③」を選択した場合は J 13 条件は入力する必要はない。 4. J 8 条件で35mを超えた値を実数入力した場合は J 9 条件で「②」を選択し、杭 1 本当りの溶接回数を実数入力すること。 5. J 9 条件は縦継ぎ溶接の溶接回数のことである。また機械式継手の場合や溶接の無い場合は「②」を選択し「0」と入力し、J 10 条件は入力する必要はない。なお、機械式継手の場合は別途計上とする。 6. モルタル及びコンクリートの材料補正を含む。 7. J 12 条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。 8. J 13 条件を実数入力した場合は、H形鋼単価 (Y-0008000) [円/t] を単価登録すること。 9. J 14 条件を実数入力した場合は、鋼管杭単価 (Y-0010000) [円/t] を単価登録すること。 10. J 15 条件で「②」を選択した場合は J 16 条件は入力する必要はない。 11. ラフデレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 12. J 17 条件で「②」を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y-0213000) [円/㎡] を単価登録し、労務費調整係数も入力すること。 <table><tr><td colspan="2">表12.1 杭種別</td></tr><tr><td>杭 種 別</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>モルタル杭 (H形鋼)</td><td>①</td></tr><tr><td>モルタル杭 (鋼管)</td><td>②</td></tr><tr><td>コンクリート杭 (鋼管)</td><td>③</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB230610		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5		杭種別	設計杭径	杭 1 本当りの レキ質土 ・軟岩(Ⅰ) の掘削長	杭 1 本当りの 砂及び砂質土 ・粘性土 の掘削長	杭 1 本当りの 岩塊・玉石の 掘削長			(mm)	(m)	(m)	(m)		(表12.1)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)									J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12								杭 1 本当りの 軟岩(Ⅱ) の掘削長	杭 1 本当りの 硬岩の 掘削長	杭 1 本当りの 杭長	杭 1 本当りの 溶接回数	鋼管板厚 補正係数 (α)	モルタル 規格	コンクリート 規格								(m)	(m)	(m)	①標準 ②標準以外	(表12.2)	(表12.3)	(表12.4)								(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)											J 13	J 14	J 15	J 16	J 17										H形鋼m当り 材料質量	鋼管杭m当り 材料質量	補助機械 の使用	ラフデレーン クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外	コンクリート 夜間割増 の有無										(t)	(t)	①有 ②無	(実数入力)	①無 ②有										(実数入力)	(実数入力)						表12.1 杭種別		杭 種 別	入力番号	モルタル杭 (H形鋼)	①	モルタル杭 (鋼管)	②	コンクリート杭 (鋼管)	③	12. 施工単価入力基準表 (1) 場所打杭工 (大口径ボーリングマシン工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB230610</td><td>施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="6">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td colspan="2">J 5</td></tr><tr><td>杭種別</td><td>設計杭径</td><td>杭1本当りの レキ質土 ・軟岩(Ⅰ) の掘削長</td><td>杭1本当りの 砂及び砂質土 ・粘性土 の掘削長</td><td colspan="2">杭 1 本当りの 岩塊・玉石の 掘削長</td></tr><tr><td></td><td>(mm)</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td colspan="2">(m)</td></tr><tr><td>(表12.1)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td colspan="2">(実数入力)</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>J 6</td><td>J 7</td><td>J 8</td><td>J 9</td><td>J 10</td><td>J 11</td><td>J 12</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>杭1本当りの 軟岩(Ⅱ) の掘削長</td><td>杭1本当りの 硬岩の 掘削長</td><td>杭1本当りの 杭長</td><td>杭1本当りの 溶接回数</td><td>鋼管板厚 補正係数 (α)</td><td>モルタル 規格</td><td>コンクリート 規格</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>(m)</td><td>①標準 ②標準以外</td><td>(表12.2)</td><td>(表12.3)</td><td>(表12.4)</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>J 13</td><td>J 14</td><td>J 15</td><td>J 16</td><td colspan="3">J 17</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>H形鋼m当り 材料質量</td><td>鋼管杭m当り 材料質量</td><td>補助機械 の使用</td><td>ラフデレーン クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外</td><td colspan="3">コンクリート 夜間割増 の有無</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(t)</td><td>(t)</td><td>①有 ②無</td><td>(実数入力)</td><td colspan="3">①無 ②有</td></tr><tr><td colspan="7"></td><td>(実数入力)</td><td>(実数入力)</td><td></td><td></td><td colspan="3"></td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で「①」を選択した場合は J 10, J 12, J 14, J 17 条件は入力する必要はない。 2. J 1 条件で「②」を選択した場合は J 12, J 13, J 17 条件は入力する必要はない。 3. J 1 条件で「③」を選択した場合は J 13 条件は入力する必要はない。 4. J 8 条件で35mを超えた値を実数入力した場合は J 9 条件で「②」を選択し、杭 1 本当りの溶接回数を実数入力すること。 5. J 9 条件は縦継ぎ溶接の溶接回数のことである。また機械式継手の場合や溶接の無い場合は「②」を選択し「0」と入力し、J 10 条件は入力する必要はない。なお、機械式継手の場合は別途計上とする。 6. モルタル及びコンクリートの材料補正を含む。 7. J 12 条件で③を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。 8. J 13 条件を実数入力した場合は、H形鋼単価 (Y-0008000) [円/t] を単価登録すること。 9. J 14 条件を実数入力した場合は、鋼管杭単価 (Y-0010000) [円/t] を単価登録すること。 10. J 15 条件で「②」を選択した場合は J 16 条件は入力する必要はない。 11. ラフデレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 12. J 17 条件で「②」を選択した場合は、生コンクリート夜間割増額 (Y-0213000) [円/㎡] を単価登録し、労務費調整係数も入力すること。 <table><tr><td colspan="2">表12.1 杭種別</td></tr><tr><td>杭 種 別</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>モルタル杭 (H形鋼)</td><td>①</td></tr><tr><td>モルタル杭 (鋼管)</td><td>②</td></tr><tr><td>コンクリート杭 (鋼管)</td><td>③</td></tr></table>				施工歩掛コード	WB230610		施工単位	本		施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5		杭種別	設計杭径	杭1本当りの レキ質土 ・軟岩(Ⅰ) の掘削長	杭1本当りの 砂及び砂質土 ・粘性土 の掘削長	杭 1 本当りの 岩塊・玉石の 掘削長			(mm)	(m)	(m)	(m)		(表12.1)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)									J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12								杭1本当りの 軟岩(Ⅱ) の掘削長	杭1本当りの 硬岩の 掘削長	杭1本当りの 杭長	杭1本当りの 溶接回数	鋼管板厚 補正係数 (α)	モルタル 規格	コンクリート 規格								(m)	(m)	(m)	①標準 ②標準以外	(表12.2)	(表12.3)	(表12.4)								(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)											J 13	J 14	J 15	J 16	J 17										H形鋼m当り 材料質量	鋼管杭m当り 材料質量	補助機械 の使用	ラフデレーン クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外	コンクリート 夜間割増 の有無										(t)	(t)	①有 ②無	(実数入力)	①無 ②有										(実数入力)	(実数入力)						表12.1 杭種別		杭 種 別	入力番号	モルタル杭 (H形鋼)	①	モルタル杭 (鋼管)	②	コンクリート杭 (鋼管)	③	記載の変更			
施工歩掛コード	WB230610		施工単位	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	杭種別	設計杭径	杭 1 本当りの レキ質土 ・軟岩(Ⅰ) の掘削長	杭 1 本当りの 砂及び砂質土 ・粘性土 の掘削長	杭 1 本当りの 岩塊・玉石の 掘削長																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		(mm)	(m)	(m)	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	(表12.1)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							杭 1 本当りの 軟岩(Ⅱ) の掘削長	杭 1 本当りの 硬岩の 掘削長	杭 1 本当りの 杭長	杭 1 本当りの 溶接回数	鋼管板厚 補正係数 (α)	モルタル 規格	コンクリート 規格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							(m)	(m)	(m)	①標準 ②標準以外	(表12.2)	(表12.3)	(表12.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
							J 13	J 14	J 15	J 16	J 17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							H形鋼m当り 材料質量	鋼管杭m当り 材料質量	補助機械 の使用	ラフデレーン クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外	コンクリート 夜間割増 の有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							(t)	(t)	①有 ②無	(実数入力)	①無 ②有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							(実数入力)	(実数入力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
表12.1 杭種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
杭 種 別	入力番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
モルタル杭 (H形鋼)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
モルタル杭 (鋼管)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート杭 (鋼管)	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工歩掛コード	WB230610		施工単位	本																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	杭種別	設計杭径	杭1本当りの レキ質土 ・軟岩(Ⅰ) の掘削長	杭1本当りの 砂及び砂質土 ・粘性土 の掘削長	杭 1 本当りの 岩塊・玉石の 掘削長																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		(mm)	(m)	(m)	(m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	(表12.1)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							J 6	J 7	J 8	J 9	J 10	J 11	J 12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							杭1本当りの 軟岩(Ⅱ) の掘削長	杭1本当りの 硬岩の 掘削長	杭1本当りの 杭長	杭1本当りの 溶接回数	鋼管板厚 補正係数 (α)	モルタル 規格	コンクリート 規格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							(m)	(m)	(m)	①標準 ②標準以外	(表12.2)	(表12.3)	(表12.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)	(実数入力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
							J 13	J 14	J 15	J 16	J 17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							H形鋼m当り 材料質量	鋼管杭m当り 材料質量	補助機械 の使用	ラフデレーン クレーン 賃料補正係数 ①標準 ②標準以外	コンクリート 夜間割増 の有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							(t)	(t)	①有 ②無	(実数入力)	①無 ②有																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
							(実数入力)	(実数入力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
表12.1 杭種別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
杭 種 別	入力番号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
モルタル杭 (H形鋼)	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
モルタル杭 (鋼管)	②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート杭 (鋼管)	③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
積算上の注意事項				(控え頁)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				8/9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

工 種	場所打杭工(大口径ボーリングマシン工)
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																						
		現 行																																																																																						
現 行		改 正	備 考																																																																																					
表12.2 鋼管板厚補正係数(α) <table><tr><td>板厚区分 (mm)</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>～15</td><td>①</td></tr><tr><td>16～20</td><td>②</td></tr><tr><td>21～25</td><td>③</td></tr><tr><td>26～30</td><td>④</td></tr></table> 表12.3 モルタル規格 <table><tr><td>モルタル規格</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>1：1 普通</td><td>①</td></tr><tr><td>1：2 普通</td><td>②</td></tr><tr><td>1：3 普通</td><td>③</td></tr><tr><td>1：1 高炉</td><td>④</td></tr><tr><td>1：2 高炉</td><td>⑤</td></tr><tr><td>1：3 高炉</td><td>⑥</td></tr></table> 表12.4 コンクリート規格 <table><tr><td>生コンクリート規格</td><td>入力番号</td><td>生コンクリート規格</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>18-8-25 (20) (普通)</td><td>①</td><td>18-12-10 (普通)</td><td>⑥</td></tr><tr><td>18-12-25 (20) (普通)</td><td>②</td><td>18-8-40 (高炉)</td><td>⑦</td></tr><tr><td>18-8-25 (20) (高炉)</td><td>③</td><td>18-12-10 (高炉)</td><td>⑧</td></tr><tr><td>18-12-25 (20) (高炉)</td><td>④</td><td>Y-0210000 (各種)</td><td>⑨</td></tr><tr><td>18-8-40 (普通)</td><td>⑤</td><td></td><td></td></tr></table> (2) やぐら設置・撤去 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230630</td><td>施工単位</td><td>回</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>施工方法</td><td>発動発電機の規格</td><td>ラフテレーンクレーン 賃料補正係数</td></tr><tr><td>①ラフテレーン クレーン使用 ②索道使用</td><td>①75kVA ②100kVA</td><td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1条件で「①」を選択した場合はJ 2条件は入力する必要はない。 2. J 1条件で「②」を選択した場合はJ 3条件は入力する必要はない。また、索道の設置・撤去は別途計上すること。 3. ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。		板厚区分 (mm)	入力番号	～15	①	16～20	②	21～25	③	26～30	④	モルタル規格	入力番号	1：1 普通	①	1：2 普通	②	1：3 普通	③	1：1 高炉	④	1：2 高炉	⑤	1：3 高炉	⑥	生コンクリート規格	入力番号	生コンクリート規格	入力番号	18-8-25 (20) (普通)	①	18-12-10 (普通)	⑥	18-12-25 (20) (普通)	②	18-8-40 (高炉)	⑦	18-8-25 (20) (高炉)	③	18-12-10 (高炉)	⑧	18-12-25 (20) (高炉)	④	Y-0210000 (各種)	⑨	18-8-40 (普通)	⑤			施工歩掛コード	WB230630	施工単位	回	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	施工方法	発動発電機の規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数	①ラフテレーン クレーン使用 ②索道使用	①75kVA ②100kVA	①標準 ②標準以外 (実数入力)	現行どおり (2) やぐら設置・撤去 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB230630</td><td>施工単位</td><td>回</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 1</td></tr><tr><td>施工方法</td><td>発動発電機の規格</td><td>ラフテレーンクレーン 賃料補正係数</td></tr><tr><td>①ラフテレーン クレーン使用 ②索道使用</td><td>①75kVA ②100kVA</td><td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 1条件で「①」を選択した場合はJ 2条件は入力する必要はない。 2. J 1条件で「②」を選択した場合はJ 3条件は入力する必要はない。また、索道の設置・撤去は別途計上すること。 3. ラフテレーンクレーンの賃料補正(夜間作業)を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。		施工歩掛コード	WB230630	施工単位	回	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 1	施工方法	発動発電機の規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数	①ラフテレーン クレーン使用 ②索道使用	①75kVA ②100kVA	①標準 ②標準以外 (実数入力)	記載の変更
板厚区分 (mm)	入力番号																																																																																							
～15	①																																																																																							
16～20	②																																																																																							
21～25	③																																																																																							
26～30	④																																																																																							
モルタル規格	入力番号																																																																																							
1：1 普通	①																																																																																							
1：2 普通	②																																																																																							
1：3 普通	③																																																																																							
1：1 高炉	④																																																																																							
1：2 高炉	⑤																																																																																							
1：3 高炉	⑥																																																																																							
生コンクリート規格	入力番号	生コンクリート規格	入力番号																																																																																					
18-8-25 (20) (普通)	①	18-12-10 (普通)	⑥																																																																																					
18-12-25 (20) (普通)	②	18-8-40 (高炉)	⑦																																																																																					
18-8-25 (20) (高炉)	③	18-12-10 (高炉)	⑧																																																																																					
18-12-25 (20) (高炉)	④	Y-0210000 (各種)	⑨																																																																																					
18-8-40 (普通)	⑤																																																																																							
施工歩掛コード	WB230630	施工単位	回																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																					
	施工方法	発動発電機の規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数																																																																																					
	①ラフテレーン クレーン使用 ②索道使用	①75kVA ②100kVA	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																					
施工歩掛コード	WB230630	施工単位	回																																																																																					
施工区分	入 力 条 件																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 1																																																																																					
	施工方法	発動発電機の規格	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数																																																																																					
	①ラフテレーン クレーン使用 ②索道使用	①75kVA ②100kVA	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 9/9																																																																																					

改正理由		一部改正		改正 現行																																																																																																							
現行				改正		備考																																																																																																					
②-3 ダウンザホールハンマ工 1. 適用範囲 本資料は、ダウンザホールハンマによる場所打杭工（山留工、地すべり抑止杭、基礎杭（構造物、仮設物）、防護柵）の施工に適用する。ただし、防護柵については、吸収エネルギーが 750～1,000kJ 程度の高エネルギー吸収柵の支柱設置のみ適用する。 適用範囲は、設計杭径 170mm 以上 580 mm 以下、掘削長 30m 以下とする。ただし、防護柵については、設計杭径 270mm 超え 320mm 以下、掘削長 8 m 以下とする。また、杭の頭出しを行う場合にも適用する。 なお、鋼管・H形鋼の頭出しの長さは 6 m 以下とし、防護柵の頭出しの長さは、4 m 以下とする。 縦杭は地中部のみとし、地上部の縦杭は場所打杭工の対象としない。 表 1. 1 設計杭径及び削孔径 <table><tr><th>設計杭径 (mm)</th><th>170 以上 220 以下</th><th>220 超え 270 以下</th><th>270 超え 320 以下</th><th>320 超え 360 以下</th><th>360 超え 430 以下</th><th>430 超え 510 以下</th><th>510 超え 580 以下</th></tr><tr><td>項目</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td></tr><tr><td>削孔径 (mm)</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td></tr><tr><td>H 形鋼</td><td colspan="7">設計杭径は、H 形鋼の対角線長とする。</td></tr><tr><td>鋼管</td><td colspan="7">設計杭径は、鋼管の外径とする。</td></tr><tr><td>防護柵</td><td colspan="7">設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。</td></tr></table> H 形鋼の場合 鋼管の場合 防護柵の場合 図 1-1 施工図 II-3-②-21				設計杭径 (mm)	170 以上 220 以下	220 超え 270 以下	270 超え 320 以下	320 超え 360 以下	360 超え 430 以下	430 超え 510 以下	510 超え 580 以下	項目	300	350	400	450	500	550	600	削孔径 (mm)	300	350	400	450	500	550	600	H 形鋼	設計杭径は、H 形鋼の対角線長とする。							鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。							防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。							現行どおり 1. 適用範囲 本資料は、ダウンザホールハンマによる場所打杭工（山留工、地すべり抑止杭、基礎杭（構造物、仮設物）、防護柵）の施工に適用する。ただし、防護柵については、吸収エネルギーが 750～1,000kJ 程度の高エネルギー吸収柵の支柱設置のみ適用する。なお、比較的安全した地盤で孔壁保護を行わずに施工する場合に適用し、孔壁保護を行う場合には、別途考慮する。 適用範囲は、設計杭径 170mm 以上 580 mm 以下、掘削長 30m 以下とする。ただし、防護柵については、設計杭径 270mm 超え 320mm 以下、掘削長 8 m 以下とする。また、杭の頭出しを行う場合にも適用する。 なお、鋼管・H形鋼の頭出しの長さは 6 m 以下とし、防護柵の頭出しの長さは、4 m 以下とする。 縦杭は地中部のみとし、地上部の縦杭は場所打杭工の対象としない。 表 1. 1 設計杭径及び削孔径 <table><tr><th colspan="2">設計杭径 (mm)</th><th>170 以上 220 以下</th><th>220 超え 270 以下</th><th>270 超え 320 以下</th><th>320 超え 360 以下</th><th>360 超え 430 以下</th><th>430 超え 510 以下</th><th>510 超え 580 以下</th></tr><tr><td rowspan="2">項目</td><td>H 形鋼</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td></tr><tr><td>鋼管・防護柵</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td></tr><tr><td>H 形鋼</td><td colspan="8">設計杭径は、H 形鋼の対角線長とする。</td></tr><tr><td>鋼管</td><td colspan="8">設計杭径は、鋼管の外径とする。</td></tr><tr><td>防護柵</td><td colspan="8">設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。</td></tr></table> 図 1-1 施工図 II-3-②-21		設計杭径 (mm)		170 以上 220 以下	220 超え 270 以下	270 超え 320 以下	320 超え 360 以下	360 超え 430 以下	430 超え 510 以下	510 超え 580 以下	項目	H 形鋼	300	350	400	450	500	550	600	鋼管・防護柵	300	350	400	450	500	550	600	H 形鋼	設計杭径は、H 形鋼の対角線長とする。								鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。								防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。								記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
設計杭径 (mm)	170 以上 220 以下	220 超え 270 以下	270 超え 320 以下	320 超え 360 以下	360 超え 430 以下	430 超え 510 以下	510 超え 580 以下																																																																																																				
項目	300	350	400	450	500	550	600																																																																																																				
削孔径 (mm)	300	350	400	450	500	550	600																																																																																																				
H 形鋼	設計杭径は、H 形鋼の対角線長とする。																																																																																																										
鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。																																																																																																										
防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。																																																																																																										
設計杭径 (mm)		170 以上 220 以下	220 超え 270 以下	270 超え 320 以下	320 超え 360 以下	360 超え 430 以下	430 超え 510 以下	510 超え 580 以下																																																																																																			
項目	H 形鋼	300	350	400	450	500	550	600																																																																																																			
	鋼管・防護柵	300	350	400	450	500	550	600																																																																																																			
H 形鋼	設計杭径は、H 形鋼の対角線長とする。																																																																																																										
鋼管	設計杭径は、鋼管の外径とする。																																																																																																										
防護柵	設計杭径は、回転防止筋を含む外径とする。																																																																																																										
積算上の注意事項						(控え頁) 1 / 25																																																																																																					

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現 行	改 正	備 考	
2. 施 工 概 要 本工法は、クレーン又は大口径ボーリングマシンに取付けたダウンザホールハンマの打撃により地盤を掘削し、鋼管杭又はH形鋼杭を建込み、中詰材・外詰材の注入等の一連作業で杭を形成するものである。 なお、本工法は比較的安定した地盤で孔壁保護を行わずに施工する場合に適用し、孔壁保護を行う場合には、本工法の適用外とし別途考慮する。 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。 1) A工法（クレーン工法） (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については別途計上する。 図2-1 施工フロー	2. 施 工 概 要 本工法は、クレーン又は大口径ボーリングマシンに取付けたダウンザホールハンマの打撃により地盤を掘削し、鋼管杭、又はH形鋼等を建込み、中詰材・外詰材の注入等の一連作業で杭を形成するものである。 なお、本工法は比較的安定した地盤で孔壁保護を行わずに施工する場合に適用し、孔壁保護を行う場合には、本工法の適用外とし別途考慮する。 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。 1) A工法（クレーン工法） (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については別途計上する。 図2-1 施工フロー	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
積算上の注意事項			(控え頁) 2／25

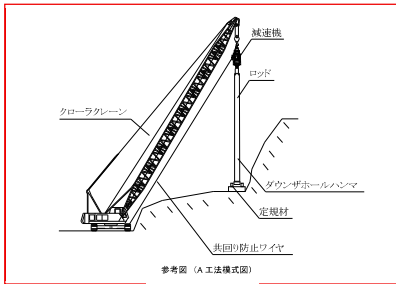
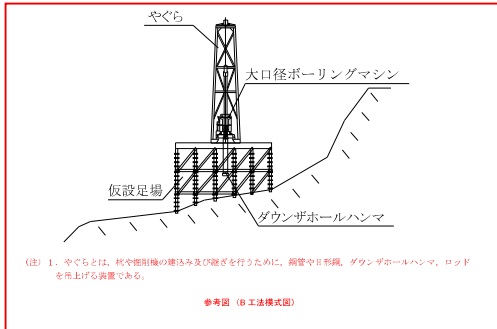
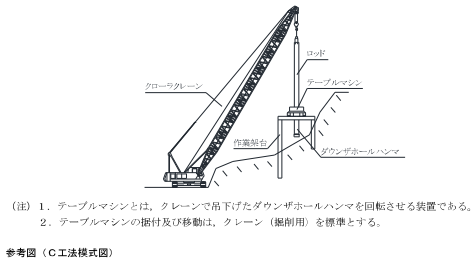
工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行	
現 行		改 正		備 考
2) B工法 (大口径ボーリングマシン工法) (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材 (モルタル) 入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については別途計上する。 4. 傾斜地等で仮設足場が必要な場合、別途計上する。 図2-2 施工フロー		2) B工法 (大口径ボーリングマシン工法) (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護柵の場合は、中詰材 (モルタル) 入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については別途計上する。 4. 傾斜地等で作業架台仮設足場が必要な場合、別途計上する。 図2-2 施工フロー		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項				(控え頁) 3/25

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行		
現	行	改 正	備 考	
3) C工法（テーブルマシン工法） 機 材 搬 入 整 地・敷 設 板 設 置 作 業 架 台 設 置 掘 削 機 組 立 芯 出 し テ ー ブ ル マ シ ン 設 置 掘 削 孔 内 洗 浄 鋼材建て・汚染又はガルト除去 モルタル・中埋コンクリート打設 ス ラ イ ム 除 去 テ ー ブ ル マ シ ン 移 動 掘 削 機 移 動 掘 削 分 解 作 業 架 台 撤 去 機 材 出 荷 防護棚の場合 土砂による埋戻しの場合 土 砂 埋 戻 し 支 柱 建 込 外 詰 モ ル タ ル 充 填 支柱キャップ取付け 施工本数分繰り返し (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護棚の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については別途計上する。 4. 作業架台の設置・撤去は別途計上とする。 図2-3 施工フロー クローラクレーン 作業架台 テーブルマシン ダウンザホールハンマ ロッド (注) 1. テーブルマシンとは、クレーンで吊下げたダウンザホールハンマを回転させる装置である。 2. テーブルマシンの据付及び移動は、クレーン（掘削用）を標準とする。 参考図（C工法模式図） Ⅱ-3-②-24		3) C工法（テーブルマシン工法） 機 材 搬 入 整 地・敷 設 板 設 置 作 業 架 台 設 置 掘 削 機 組 立 芯 出 し テ ー ブ ル マ シ ン 設 置 掘 削 孔 内 洗 浄 鋼材建て・汚染又はガルト除去 モルタル・中埋コンクリート ス ラ イ ム 除 去 テ ー ブ ル マ シ ン 移 動 掘 削 機 移 動 掘 削 機 分 解 作 業 架 台 撤 去 機 材 出 荷 防護棚の場合 土砂による埋戻しの場合 土 砂 埋 戻 し 支 柱 建 込 外 詰 モ ル タ ル 充 填 支柱キャップ取付け 施工本数分繰り返し (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 防護棚の場合は、中詰材（モルタル）入り鋼管とし、外詰モルタル充填のみ計上する。 3. 支柱キャップ取付け及び取付けに必要な足場については別途計上する。 4. 作業架台の設置・撤去は別途計上とする。 図2-3 施工フロー 次頁へ移動		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 4／25	

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行		
	現 行 現行なし	→		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
	現 行 現行なし	→		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
	前 頁 から 移 動	→	 (注) 1. テーブルマシンとは、クレーンで吊下げたダウンザホールハンマを回転させる装置である。 2. テーブルマシンの据付及び移動は、クレーン (掘削用) を標準とする。 参考図 (C) 工法模式図	
積算上の注意事項				(控え頁) 5／25

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																																																											
現 行				改 正				備 考																																																																																																																											
2-2 工法の選定 工法の選定は、図2-4による。 スタート 掘削箇所に クレーンが搬入 かつ設置可能か NO YES 掘削場所が 傾斜地でかつ作 業架台が必要か YES NO A工法（クレーン工法） B工法 (大口径ボーリングマシン工法) C工法 (テーブルマシン工法) 図2-4 工法の選定 3. 機 種 の 選 定 3-1 機種を選定 機械・規格は、下記を標準とする。 <table><tr><th colspan="7">表3. 1 機種の選定(A工法)</th></tr><tr><th rowspan="2">作 業 種 別</th><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="2">掘 削 用</td><td rowspan="2">ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ</td><td>[アースオーガ（油圧式）及び モンケン架装] ベースマシン35t吊</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">掘 削 用</td><td rowspan="2">クローラークレーン</td><td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td><td>”</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>ダウンザホールハンマ</td><td>[空圧式]</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td>表3.4</td></tr><tr><td></td><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリ ュエ型・最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)</td><td>”</td><td>必要台数</td><td></td><td>表3.5</td></tr><tr><td>鋼管杭・H形 鋼杭等建 立・分解用</td><td>ラフテレーンクレーン</td><td>[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭等の建込み、クレーン（掘削用）の組立（リーダー、減速機の取付け）・分解時には、ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型25 t 吊）を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 空気圧縮機は、賃料とする。 3. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。				表3. 1 機種の選定(A工法)							作 業 種 別	機 械 名	規 格	単位	数 量		摘 要			掘 削 用	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ	[アースオーガ（油圧式）及び モンケン架装] ベースマシン35t吊	台	1	—							掘 削 用	クローラークレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	”	—	1								ダウンザホールハンマ	[空圧式]	”	1		表3.4		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリ ュエ型・最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)	”	必要台数		表3.5	鋼管杭・H形 鋼杭等建 立・分解用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	”	1			現行どおり 3. 機 種 の 選 定 3-1 機種を選定 機械・規格は、下記を標準とする。 1) A工法 <table><tr><th colspan="7">表3. 1 機種の選定(A工法)</th></tr><tr><th rowspan="2">作 業 種 別</th><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="2">掘 削 用</td><td rowspan="2">ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ</td><td>[アースオーガ（油圧式）及び モンケン架装] ベースマシン35t吊</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">掘 削 用</td><td rowspan="2">クローラークレーン</td><td>[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊</td><td>”</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>ダウンザホールハンマ</td><td>[空圧式]</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td>表3.4</td></tr><tr><td></td><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリ ュエ型・最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)</td><td>”</td><td>必要台数</td><td></td><td>表3.5</td></tr><tr><td>鋼管杭・H形 鋼杭等建 立・分解用</td><td>ラフテレーンクレーン</td><td>[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊</td><td>”</td><td>1</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭等の建込み、クレーン（掘削用）の組立（リーダー、減速機の取付け）・分解時には、ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型最大吊上能力25 t 吊）を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。				表3. 1 機種の選定(A工法)							作 業 種 別	機 械 名	規 格	単位	数 量		摘 要			掘 削 用	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ	[アースオーガ（油圧式）及び モンケン架装] ベースマシン35t吊	台	1	—							掘 削 用	クローラークレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	”	—	1								ダウンザホールハンマ	[空圧式]	”	1		表3.4		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリ ュエ型・最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)	”	必要台数		表3.5	鋼管杭・H形 鋼杭等建 立・分解用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	”	1			記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
表3. 1 機種の選定(A工法)																																																																																																																																			
作 業 種 別	機 械 名	規 格	単位	数 量		摘 要																																																																																																																													
掘 削 用	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ	[アースオーガ（油圧式）及び モンケン架装] ベースマシン35t吊	台	1	—																																																																																																																														
掘 削 用	クローラークレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	”	—	1																																																																																																																														
	ダウンザホールハンマ	[空圧式]	”	1		表3.4																																																																																																																													
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリ ュエ型・最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)	”	必要台数		表3.5																																																																																																																													
鋼管杭・H形 鋼杭等建 立・分解用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	”	1																																																																																																																															
表3. 1 機種の選定(A工法)																																																																																																																																			
作 業 種 別	機 械 名	規 格	単位	数 量		摘 要																																																																																																																													
掘 削 用	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ	[アースオーガ（油圧式）及び モンケン架装] ベースマシン35t吊	台	1	—																																																																																																																														
掘 削 用	クローラークレーン	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014年規 制)] 最大吊上能力70t吊	”	—	1																																																																																																																														
	ダウンザホールハンマ	[空圧式]	”	1		表3.4																																																																																																																													
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリ ュエ型・最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型(第2次基準値)	”	必要台数		表3.5																																																																																																																													
鋼管杭・H形 鋼杭等建 立・分解用	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	”	1																																																																																																																															
積算上の注意事項								(控え頁) 6／25																																																																																																																											

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由

一部改正

改 正

現 行

現

行

改

正

備

考

表3. 2 機種を選定(B工法)

作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要
	大口径ボーリングマシン		台	1	図3-2
	ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6
資材等現場内小運搬 掘削機の移動 鋼管杭、H形鋼杭建込	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	〃	1	必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。

(注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭の建込み、掘削機の移動については、大口径ボーリングマシン付属のウインチで施工することを標準とする。
2. 現場、作業条件が下記に該当する場合は、必要に応じて補助クレーンを別途計上する。
①工事場所により10m以内のところに材料置場を設けることが出来ない場合。
②民家、構造物、その他の施設等を破損又は危険にさらす恐れのある場合。
③現場条件等により、大口径ボーリングマシン付属のウインチによる施工が困難な場合。
3. 補助クレーンの場合、作業は準備作業までとする。
4. 空気圧縮機、ラフテレーンクレーンは、賃料とする。
5. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。

表3. 3 機種を選定(C工法)

作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要
	クレーン(掘削用)		台	1	図3-1, 表3.4
	ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1	表3.5
	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)	〃	必要台数	表3.6

(注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭の建込みは、クレーン(掘削用)を標準とするが、現場条件により上表により難しい場合は、別途考慮する。
2. 空気圧縮機は、賃料とする。
3. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。

3-2 掘削機の選定

掘削機の選定は、次図を標準とする。

1) クレーン(掘削用)

選定基準

- ・ラフテレーンクレーン (25 t 吊)
- 設計杭径: 430mm 以下
- 掘削長: 30m 以下
- ・クローラクレーン (50～55 t 吊)
- 設計杭径: 430 mm超え 580 mm 以下
- 掘削長: 30m 以下

(注) 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。

図3-1 クレーン(掘削用)機種選定

Ⅱ-3-②-27

2) B工法

表3. 2 機種を選定(B工法)

作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量			摘 要
				設計杭径 320mm以下	設計杭径 320mm超え		
	大口径ボーリングマシン	通称19kW級 通称30kW級	台 〃	1 —	— 1	— 1	図3-1 図3-1
	ダウンザホールハンマ	空圧式	〃	1			表3.4
	空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)	〃	必要台数			表3.5
資材等現場内小運搬、掘削機の移動	ラフテレーンクレーン	[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制)] 最大吊上能力25t吊	〃	1			必要に応じてラフテレーンクレーン(補助クレーン用)を別途計上する。

(注) 1. 鋼管杭、H形鋼杭等の建込み、掘削機の移動については、大口径ボーリングマシン付属のウインチで施工することを標準とする。
2. 現場、作業条件が下記に該当する場合は、必要に応じて補助クレーンを別途計上する。
①工事場所により10m以内のところに材料置場を設けることが出来ない場合。
②民家、構造物、その他の施設等を破損又は危険にさらす恐れのある場合。
③現場条件等により、大口径ボーリングマシン付属のウインチによる施工が困難な場合。
3. 補助クレーンの場合、作業は準備作業までとする。
4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。
5. 粉塵対策が必要な場合には、給水ポンプ、集塵機を共通仮設費の安全費に別途計上する。

掘削長
(m)

30
25
20
15
10
5

170

430

580

設計杭径(mm)

通称 19kW 級

通称 30kW 級

選定基準

- ・通称 19kW 級
- 杭 径: 320mm 以下
- 掘削長: 25m 以下
- ・通称 30kW 級
- 杭 径: 320mm 超え 580mm 以下
- 掘削長: 30m 以下
- 及び
- 杭 径: 320mm 以下
- 掘削長: 25m 超え 30m 以下

(注) 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。

図3-1 大口径ボーリングマシンの選定

次頁へ移動

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

(控え頁)

積算上の注意事項

9 / 25

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正	
		現 行	
現	行	改 正	備 考
前頁から移動		3) C工法	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
前頁から移動		削除	
積算上の注意事項		(控え頁) 8／25	

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																																																																				
現 行				改 正				備 考																																																																																				
表3. 4 クレーン(掘削用)機種・規格 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td><td></td></tr><tr><td>クローラクレーン</td><td>油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50～55t吊</td><td></td></tr></table> 2) 大口径ボーリングマシン 掘削長(m) 30 25 20 15 10 5 設計杭径(mm) 170320580 19kW級 30kW級 選定基準 ・19kW級 杭 径：320 mm以下 掘削長：25m以下 ・30kW級 杭 径：320 mmを超え 580 mm以下 掘削長：30m以下 及び 杭 径：320 mm以下 掘削長：25mを超え 30m以下 注) 現場条件等により、上図により難しい場合は別途考慮する。 図3-2 大口径ボーリングマシンの選定 3-3 ダウンザホールハンマの選定 ダウンザホールハンマの選定は、次表を標準とする。 表3. 5 ダウンザホールハンマの選定 <table><tr><th>設計杭径 (mm)</th><th>170以上 220以下</th><th>220を超え 270以下</th><th>270を超え 320以下</th><th>320を超え 360以下</th><th>360を超え 430以下</th><th>430を超え 510以下</th><th>510を超え 580以下</th></tr><tr><td>ダウンザホールハンマ規格</td><td>掘削孔径φ250～300mm</td><td>掘削孔径φ302～381mm</td><td>掘削孔径φ382～457mm</td><td colspan="4">掘削孔径φ508～762mm</td></tr></table> 3-4 空気圧縮機の選定 空気圧縮機の選定は、次表を標準とする。 表3. 6 空気圧縮機の選定 <table><tr><th>設計杭径 (mm)</th><th>170以上 320以下</th><th>320を超え 430以下</th><th>430を超え 510以下</th><th>510を超え 580以下</th></tr><tr><td>空気圧縮機規格・台数</td><td>18～19 m³/min 2台</td><td>18～19 m³/min 3台</td><td>18～19m³/min 3台 7.5～7.8m³/min 1台</td><td>18～19 m³/min 4台</td></tr></table> (注) 1. 空気圧縮機は、可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・排出ガス対策型(第2次基準値)とする。 2. 空気圧縮機は、賃料とする。 II-3-②-27				機 械 名	規 格	摘 要	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊		クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50～55t吊		設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220を超え 270以下	270を超え 320以下	320を超え 360以下	360を超え 430以下	430を超え 510以下	510を超え 580以下	ダウンザホールハンマ規格	掘削孔径φ250～300mm	掘削孔径φ302～381mm	掘削孔径φ382～457mm	掘削孔径φ508～762mm				設計杭径 (mm)	170以上 320以下	320を超え 430以下	430を超え 510以下	510を超え 580以下	空気圧縮機規格・台数	18～19 m ³ /min 2台	18～19 m ³ /min 3台	18～19m ³ /min 3台 7.5～7.8m ³ /min 1台	18～19 m ³ /min 4台	削除 3-2 ダウンザホールハンマの選定 ダウンザホールハンマの選定は、次表を標準とする。 表3. 4 ダウンザホールハンマの選定 <table><tr><th>設計杭径 (mm)</th><th>170以上 220以下</th><th>220を超え 270以下</th><th>270を超え 320以下</th><th>320を超え 360以下</th><th>360を超え 430以下</th><th>430を超え 510以下</th><th>510を超え 580以下</th></tr><tr><td>ダウンザホールハンマ規格</td><td>最大掘削径φ305mm</td><td>最大掘削径φ445mm</td><td>最大掘削径φ508mm</td><td colspan="4">最大掘削径φ650mm</td></tr></table> 3-3 空気圧縮機の選定 空気圧縮機の選定は、次表を標準とする。 表3. 5 空気圧縮機の選定 <table><tr><th rowspan="2">機械名</th><th rowspan="2">規格</th><th rowspan="2">単位</th><th colspan="5">数量</th></tr><tr><th>設計杭径 170mm以上 320mm以下</th><th>設計杭径 320mmを超え 360mm以下</th><th>設計杭径 360mmを超え 430mm以下</th><th>設計杭径 430mmを超え 510mm以下</th><th>設計杭径 510mmを超え 580mm以下</th></tr><tr><td rowspan="2">空 気 圧 縮 機</td><td>「可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)」(高圧仕様) 吐出量21.0～25.5 m³/min吐出圧力0.7～1.87MPa</td><td>台</td><td>—</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td></tr><tr><td>「可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)」(高圧仕様) 吐出量37.0～41.0 m³/min吐出圧力0.7～1.87MPa</td><td>#</td><td>1</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td></tr></table>				設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220を超え 270以下	270を超え 320以下	320を超え 360以下	360を超え 430以下	430を超え 510以下	510を超え 580以下	ダウンザホールハンマ規格	最大掘削径φ305mm	最大掘削径φ445mm	最大掘削径φ508mm	最大掘削径φ650mm				機械名	規格	単位	数量					設計杭径 170mm以上 320mm以下	設計杭径 320mmを超え 360mm以下	設計杭径 360mmを超え 430mm以下	設計杭径 430mmを超え 510mm以下	設計杭径 510mmを超え 580mm以下	空 気 圧 縮 機	「可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)」(高圧仕様) 吐出量21.0～25.5 m ³ /min吐出圧力0.7～1.87MPa	台	—	2	1	3	1	3	「可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)」(高圧仕様) 吐出量37.0～41.0 m ³ /min吐出圧力0.7～1.87MPa	#	1	—	1	—	1	—	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)			
機 械 名	規 格	摘 要																																																																																										
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊																																																																																											
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 50～55t吊																																																																																											
設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220を超え 270以下	270を超え 320以下	320を超え 360以下	360を超え 430以下	430を超え 510以下	510を超え 580以下																																																																																					
ダウンザホールハンマ規格	掘削孔径φ250～300mm	掘削孔径φ302～381mm	掘削孔径φ382～457mm	掘削孔径φ508～762mm																																																																																								
設計杭径 (mm)	170以上 320以下	320を超え 430以下	430を超え 510以下	510を超え 580以下																																																																																								
空気圧縮機規格・台数	18～19 m ³ /min 2台	18～19 m ³ /min 3台	18～19m ³ /min 3台 7.5～7.8m ³ /min 1台	18～19 m ³ /min 4台																																																																																								
設計杭径 (mm)	170以上 220以下	220を超え 270以下	270を超え 320以下	320を超え 360以下	360を超え 430以下	430を超え 510以下	510を超え 580以下																																																																																					
ダウンザホールハンマ規格	最大掘削径φ305mm	最大掘削径φ445mm	最大掘削径φ508mm	最大掘削径φ650mm																																																																																								
機械名	規格	単位	数量																																																																																									
			設計杭径 170mm以上 320mm以下	設計杭径 320mmを超え 360mm以下	設計杭径 360mmを超え 430mm以下	設計杭径 430mmを超え 510mm以下	設計杭径 510mmを超え 580mm以下																																																																																					
空 気 圧 縮 機	「可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)」(高圧仕様) 吐出量21.0～25.5 m ³ /min吐出圧力0.7～1.87MPa	台	—	2	1	3	1	3																																																																																				
	「可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)」(高圧仕様) 吐出量37.0～41.0 m ³ /min吐出圧力0.7～1.87MPa	#	1	—	1	—	1	—																																																																																				
積算上の注意事項				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)				(控え頁) 9／25																																																																																				

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																	
現 行				改 正				備 考																																																	
4. 編 成 人 員 ダウンザホールハンマによる場所打杭工の編成人員は、次表を標準とする。 表4. 1 編成人員 (人) <table><tr><th>工法種別</th><th>職 種</th><th>土 木 一 般 世 話 役</th><th>と び 工</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th><th>溶 接 工</th></tr><tr><td>A 工 法 (ク レ ー ン 工 法)</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>B 工 法 (大口径ボーリングマシン工法)</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>C 工 法 (テーパーブルマシン工法)</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table> (注) 継杭を施工しない場合は、溶接工を計上しない。 5. 施 工 歩 掛 5-1 杭1本当り施工日数 (T_c) 杭1本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+(T₄・α) (日/本) ……式5. 1 H形鋼杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+T₄ (日/本) ……式5. 2 防護柵の場合：T_c=T₁+T₂+T₃ (日/本) ……式5. 3 T₁: 杭1本当りの削孔日数 (日/本) T₂: 杭1本当りの準備・建込み等日数 (日/本) T₃: 杭1本当りの充填日数 (日/本) T₄: 杭1本当りの溶接・ボルト接合日数 (日/本) α: 鋼管板厚補正係数 (注) T₄は立継溶接(※₁)、又はボルト接合により継杭を施工する場合に計上する。ただし、ボルト接合は溶接工を計上しない。 なお、機械式継手(※₂)により継杭を施工する場合も適用出来るが、T₄及び溶接工は計上せずに、費用等を別途計上する。 ※₁立継溶接・・・鋼材をクレーン等で建込みながら溶接する施工方法。 ※₂機械式継手(鋼管杭)・・・あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により嵌合させる構造のもの。 ① 杭1本当りの削孔日数 (T₁) 表5. 1 土質毎の削孔日数(T_a) (日/㎡) <table><tr><th>土質・岩質分類</th><th>砂質土</th><th>粘性土</th><th>レキ質土 岩塊・玉石 散在 中硬岩</th><th>硬岩</th></tr><tr><td>削孔日数</td><td>0.03</td><td>0.05</td><td>0.06</td><td>0.08</td></tr></table> (注) 1. 杭1本当りの削孔日数(T₁)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。 T₁=T_{a1}×ℓ₁+T_{a2}×ℓ₂+T_{a3}×ℓ₃+T_{a4}×ℓ₄+… T_a: 各土質毎の削孔日数(日/㎡) ℓ_i: 各土質の削孔長(m) 2. T₁は小数点第2位とし、小数点第3位を四捨五入する。 II-3-②-28				工法種別	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特殊作業員	普通作業員	溶 接 工	A 工 法 (ク レ ー ン 工 法)		1	1	1	1	1	B 工 法 (大口径ボーリングマシン工法)		1	1	1	2	1	C 工 法 (テーパーブルマシン工法)		1	1	1	1	1	土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 散在 中硬岩	硬岩	削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08	現行どおり 5. 施 工 歩 掛 5-1 杭1本当り施工日数 (T_c) 杭1本当り施工日数は、次式による。 鋼管杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+(T₄・α) (日/本) ……式5. 1 H形鋼杭の場合：T_c=T₁+T₂+T₃+T₄ (日/本) ……式5. 2 防護柵の場合：T_c=T₁+T₂+T₃ (日/本) ……式5. 3 T₁: 杭1本当りの削孔日数 (日/本) T₂: 杭1本当りの準備・建込み等日数 (日/本) T₃: 杭1本当りの建込・充填日数 (日/本) T₄: 杭1本当りの溶接・ボルト接合日数 (日/本) α: 鋼管板厚補正係数 (注) T₄は立継溶接(※₁)、又はボルト接合により継杭を施工する場合に計上する。ただし、ボルト接合は溶接工を計上しない。 なお、機械式継手(※₂)により継杭を施工する場合も適用出来るが、T₄及び溶接工は計上せずに、継施工費及び材料費費増等を別途計上する。 ※₁立継溶接・・・鋼材をクレーン等で建込みながら溶接する施工方法。 ※₂機械式継手(鋼管杭)・・・あらかじめ杭の上下端部に工場で溶接取付された継手部材を現地で自重等により嵌合させる構造のもの。 ① 杭1本当りの削孔日数 (T₁) 表5. 1 土質毎の削孔日数(T_a) (日/㎡) <table><tr><th>土質・岩質分類</th><th>砂質土</th><th>粘性土</th><th>レキ質土 岩塊・玉石 散在 中硬岩</th><th>硬岩</th></tr><tr><td>削孔日数</td><td>0.03</td><td>0.05</td><td>0.06</td><td>0.08</td></tr></table> (注) 1. 杭1本当りの削孔日数(T₁)は、掘削する土質毎に次のとおり加算して算出する。 T₁=T_{a1}×ℓ_{a1}+T_{a2}×ℓ_{a2}+T_{a3}×ℓ_{a3}+T_{a4}×ℓ_{a4}+… T_a: 各土質毎の削孔日数(日/㎡) ℓ_a: 各土質の削孔長(m) 2. T₁は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位とする。				土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 散在 中硬岩	硬岩	削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
工法種別	職 種	土 木 一 般 世 話 役	と び 工	特殊作業員	普通作業員	溶 接 工																																																			
A 工 法 (ク レ ー ン 工 法)		1	1	1	1	1																																																			
B 工 法 (大口径ボーリングマシン工法)		1	1	1	2	1																																																			
C 工 法 (テーパーブルマシン工法)		1	1	1	1	1																																																			
土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 散在 中硬岩	硬岩																																																					
削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08																																																					
土質・岩質分類	砂質土	粘性土	レキ質土 岩塊・玉石 散在 中硬岩	硬岩																																																					
削孔日数	0.03	0.05	0.06	0.08																																																					
				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																					
積算上の注意事項				(控え頁) 10/25																																																					

改正理由		一部改正		改正		現行		備考																																																																																																																				
現行				改正				備考																																																																																																																				
② 杭1本当りの準備・建込み等日数 (T₂) 杭1本当りの準備 (足場作り、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの移動、芯出し)、鋼管・H形鋼建込、孔内洗浄、ロッド継足し・引抜きの施工日数は次表とする。 <table><caption>表5. 2 杭1本当りの準備・建込み等日数(T₂) (日/本)</caption><tr><th colspan="2">掘削長 (m)</th><th>ℓ≦10</th><th>10< ℓ≦20</th><th>20< ℓ≦30</th></tr><tr><th>工法名</th><th>杭種</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="3">H形鋼</td><td>A工法 (クレーン工法)</td><td>0.16</td><td>0.21</td><td>0.27</td></tr><tr><td>B工法 (大口径ボーリングマシン工法)</td><td>0.26</td><td>0.32</td><td>0.38</td></tr><tr><td>C工法 (テーブルマシン工法)</td><td>0.20</td><td>0.26</td><td>0.32</td></tr><tr><td rowspan="3">鋼管 又は 防護柵</td><td>A工法 (クレーン工法)</td><td>0.17</td><td>0.25</td><td>0.33</td></tr><tr><td>B工法 (大口径ボーリングマシン工法)</td><td>0.27</td><td>0.35</td><td>0.44</td></tr><tr><td>C工法 (テーブルマシン工法)</td><td>0.21</td><td>0.30</td><td>0.38</td></tr></table> (注) 1. 大口径ボーリングマシンの1回の移動距離は3 m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。 2. 足場作りとは、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の仮設足場は含まない。 3. 削孔途中でのロッド引抜きや挿入及びロッドの先端補修を含む。 4. 大口径ボーリングマシンは、補助機械の有無にかかわらず適用出来る。 5. 削孔口周辺が崩壊する場合は、保護対策を別途計上する。 ③ 杭1本当りの充填日数 (T₃) 杭1本当りのモルタル及び中詰コンクリート打設日数、土砂埋戻し日数は、次表とする。 <table><caption>表5. 3 H形鋼(モルタル杭) (T₃) (日/本)</caption><tr><th>設計杭径 \ 掘削長</th><th>10m以下</th><th>10<ℓ≦20</th><th>20<ℓ≦30</th></tr><tr><td>170mm以上320mm以下</td><td>0.10</td><td>0.17</td><td>0.25</td></tr><tr><td>320mm超え580mm以下</td><td>0.15</td><td>0.31</td><td>0.48</td></tr></table> <table><caption>表5. 4 鋼管 (モルタル・コンクリート杭) (T₃) (日/本)</caption><tr><th>設計杭径 \ 掘削長</th><th>10m以下</th><th>10<ℓ≦20</th><th>20<ℓ≦30</th></tr><tr><td>170mm以上320mm以下</td><td>0.06</td><td>0.13</td><td>0.20</td></tr><tr><td>320mm超え580mm以下</td><td>0.11</td><td>0.27</td><td>0.43</td></tr></table> (注) 1. モルタル注入はグラウトポンプにより行い、注入パイプの取付け・取外しを含む日数である。 II-3-②-29				掘削長 (m)		ℓ≦10	10< ℓ≦20	20< ℓ≦30	工法名	杭種				H形鋼	A工法 (クレーン工法)	0.16	0.21	0.27	B工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.26	0.32	0.38	C工法 (テーブルマシン工法)	0.20	0.26	0.32	鋼管 又は 防護柵	A工法 (クレーン工法)	0.17	0.25	0.33	B工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.27	0.35	0.44	C工法 (テーブルマシン工法)	0.21	0.30	0.38	設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≦20	20<ℓ≦30	170mm以上320mm以下	0.10	0.17	0.25	320mm超え580mm以下	0.15	0.31	0.48	設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≦20	20<ℓ≦30	170mm以上320mm以下	0.06	0.13	0.20	320mm超え580mm以下	0.11	0.27	0.43	② 杭1本当りの準備等日数 (T₂) 杭1本当りの準備 (足場作り、定規材の設置・撤去、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの移動、芯出し)、鋼管・H形鋼建込、孔内洗浄、ロッド継足し・引抜き、注入管の設置・撤去の施工日数は次表とする。 <table><caption>表5. 2 杭1本当りの準備等日数(T₂) (日/本)</caption><tr><th>掘削長 (m)</th><th>ℓ₀≦6</th><th>6< ℓ₀≦15</th><th>15< ℓ₀≦30</th></tr><tr><th>杭種</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>設計杭径 (mm)</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>工法名</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="4">A工法</td><td rowspan="2">170mm以上 430mm以下</td><td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td><td>0.14</td><td>0.17</td><td>0.20</td></tr><tr><td>H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)</td><td>0.10</td><td>0.13</td><td>0.16</td></tr><tr><td rowspan="2">430mm超え 580mm以下</td><td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td><td>0.18</td><td>0.21</td><td>0.24</td></tr><tr><td>H形鋼 (土砂埋戻し)</td><td>0.14</td><td>0.17</td><td>0.20</td></tr><tr><td rowspan="2">B工法</td><td rowspan="2">170mm以上 580mm以下</td><td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td><td>0.28</td><td>0.28</td><td>0.31</td></tr><tr><td>H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)</td><td>0.23</td><td>0.23</td><td>0.27</td></tr><tr><td rowspan="2">C工法</td><td rowspan="2">170mm以上 580mm以下</td><td>H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)</td><td>0.18</td><td>0.22</td><td>0.25</td></tr><tr><td>H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)</td><td>0.14</td><td>0.18</td><td>0.21</td></tr></table> (注) 1. 大口径ボーリングマシンの1回の移動距離は3 m以内を標準とし、ブロック間の移動は、別途考慮する。 2. 足場作りとは、テーブルマシン又は大口径ボーリングマシンの下に敷く足場材の敷設とし、全体の作業集合場所足場は含まない。 3. 削孔途中でのロッド引抜きや挿入及びロッドの先端補修を含む。 4. 大口径ボーリングマシンは、補助機械の有無にかかわらず適用出来る。 5. 削孔口周辺が崩壊する場合は、保護対策を別途計上する。 6. 防護柵の適用範囲は、設計杭径270mm超え320mm以下とする。				掘削長 (m)	ℓ ₀ ≦6	6< ℓ ₀ ≦15	15< ℓ ₀ ≦30	杭種				設計杭径 (mm)				工法名				A工法	170mm以上 430mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.14	0.17	0.20	H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.10	0.13	0.16	430mm超え 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.21	0.24	H形鋼 (土砂埋戻し)	0.14	0.17	0.20	B工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.28	0.28	0.31	H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.23	0.23	0.27	C工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.22	0.25	H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.14	0.18	0.21	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
掘削長 (m)		ℓ≦10	10< ℓ≦20	20< ℓ≦30																																																																																																																								
工法名	杭種																																																																																																																											
H形鋼	A工法 (クレーン工法)	0.16	0.21	0.27																																																																																																																								
	B工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.26	0.32	0.38																																																																																																																								
	C工法 (テーブルマシン工法)	0.20	0.26	0.32																																																																																																																								
鋼管 又は 防護柵	A工法 (クレーン工法)	0.17	0.25	0.33																																																																																																																								
	B工法 (大口径ボーリングマシン工法)	0.27	0.35	0.44																																																																																																																								
	C工法 (テーブルマシン工法)	0.21	0.30	0.38																																																																																																																								
設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≦20	20<ℓ≦30																																																																																																																									
170mm以上320mm以下	0.10	0.17	0.25																																																																																																																									
320mm超え580mm以下	0.15	0.31	0.48																																																																																																																									
設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ≦20	20<ℓ≦30																																																																																																																									
170mm以上320mm以下	0.06	0.13	0.20																																																																																																																									
320mm超え580mm以下	0.11	0.27	0.43																																																																																																																									
掘削長 (m)	ℓ ₀ ≦6	6< ℓ ₀ ≦15	15< ℓ ₀ ≦30																																																																																																																									
杭種																																																																																																																												
設計杭径 (mm)																																																																																																																												
工法名																																																																																																																												
A工法	170mm以上 430mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.14	0.17	0.20																																																																																																																							
		H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.10	0.13	0.16																																																																																																																							
	430mm超え 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.21	0.24																																																																																																																							
		H形鋼 (土砂埋戻し)	0.14	0.17	0.20																																																																																																																							
B工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.28	0.28	0.31																																																																																																																							
		H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.23	0.23	0.27																																																																																																																							
C工法	170mm以上 580mm以下	H形鋼 (モルタル) 又は 鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.18	0.22	0.25																																																																																																																							
		H形鋼 (土砂埋戻し) 又は 防護柵 (モルタル)	0.14	0.18	0.21																																																																																																																							
積算上の注意事項								(控え頁) 11/25																																																																																																																				

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																					
		現 行																																					
現 行	改 正	備 考																																					
前頁から移動	③ 杭 1 本当りの建込・充填日数 (T₃) 杭 1 本当りの鋼管・防護柵・H 形鋼建込, モルタル及び中詰コンクリート打設又は, 土砂埋戻しの施工日数は, 次表とする。 表5. 3 掘削長 1m 当りの建込・充填日数(T₃) (日/㎡) <table><tr><th>設計杭径 杭種 工法</th><th>170mm 以上 270mm 以下</th><th>270mm 超え 360mm 以下</th><th>360mm 超え 430mm 以下</th><th>430mm 超え 580mm 以下</th></tr><tr><td rowspan="3">A・C 工法</td><td>H 形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)</td><td>0.012</td><td>0.016</td><td>0.020</td><td>0.028</td></tr><tr><td>鋼管 (モルタル・コンクリート)</td><td>0.015</td><td>0.019</td><td>0.023</td><td>0.027</td></tr><tr><td>防護柵 (モルタル)</td><td>—</td><td>0.014</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="3">B 工法</td><td>H 形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)</td><td>0.014</td><td>0.019</td><td>0.023</td><td>0.034</td></tr><tr><td>鋼管 (モルタル・コンクリート)</td><td>0.019</td><td>0.025</td><td>0.030</td><td>0.036</td></tr><tr><td>防護柵 (モルタル)</td><td>—</td><td>0.019</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> (注) 1. 杭1本当りの建込・充填日数(T₃)は, 次のとおり算出する。 T₃= T₁×L₃ T₁: 掘削長1m当りの建込・充填日数 (日/㎡) L₃: 掘削長(m) 2. T₃は小数第 3 位を四捨五入し, 第 2 位とする。 3. H 形鋼のモルタル注入及び鋼管の外詰モルタル注入はグラウトポンプにより行い, 注入パイプの取付け・取外しは含まない。 4. 土砂埋戻しは人力, 土砂ホッパ等による埋戻しを標準とする。 5. 鋼管の中詰コンクリートは, トラックミキサ等による打設を標準とする。 6. 防護柵の適用範囲は, 設計杭径 270mm 超え 320mm 以下とする。	設計杭径 杭種 工法	170mm 以上 270mm 以下	270mm 超え 360mm 以下	360mm 超え 430mm 以下	430mm 超え 580mm 以下	A・C 工法	H 形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.012	0.016	0.020	0.028	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.015	0.019	0.023	0.027	防護柵 (モルタル)	—	0.014	—	—	B 工法	H 形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.014	0.019	0.023	0.034	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.019	0.025	0.030	0.036	防護柵 (モルタル)	—	0.019	—	—	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
設計杭径 杭種 工法	170mm 以上 270mm 以下	270mm 超え 360mm 以下	360mm 超え 430mm 以下	430mm 超え 580mm 以下																																			
A・C 工法	H 形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.012	0.016	0.020	0.028																																		
	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.015	0.019	0.023	0.027																																		
	防護柵 (モルタル)	—	0.014	—	—																																		
B 工法	H 形鋼 (モルタル杭・土砂埋戻し)	0.014	0.019	0.023	0.034																																		
	鋼管 (モルタル・コンクリート)	0.019	0.025	0.030	0.036																																		
	防護柵 (モルタル)	—	0.019	—	—																																		
積算上の注意事項		(控え頁) 12／25																																					

改 正 理 由		一部改正				改 正 現 行																																																																																																																																																																															
現 行						改 正						備 考																																																																																																																																																																									
表 5. 5 土砂埋戻し (T₃) (日/本) <table><tr><td rowspan="3">設計杭径 \ 掘削長</td><td>10m以下</td><td>10<ℓ ≤20</td><td>20<ℓ ≤30</td></tr><tr><td>170mm以上320mm以下</td><td>0.03</td><td>0.09</td><td>0.14</td></tr><tr><td>320mm超え580mm以下</td><td>0.07</td><td>0.20</td><td>0.32</td></tr></table> (注) 土砂埋戻しは人力、土砂ホッパ等により行う日数である。 表 5. 6 防護柵 (モルタル杭) (T₃) (日/本) <table><tr><td rowspan="2">設計杭径 \ 掘削長</td><td>8m以下</td></tr><tr><td>270mm超え320mm以下</td><td>0.02</td></tr></table> (注) モルタル注入はグラウトポンプにより行い、外詰モルタル打設日数とする。 ④ 杭 1 本当りの溶接・ボルト接合日数 (溶接) (T₄) 表 5. 7 H形鋼(溶接) (T₄) (日/本) <table><tr><td rowspan="4">H形鋼規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長</td><td>150～175</td><td>200</td><td>250</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td></tr><tr><td>L ≤12m</td><td>0 回</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>12m <L ≤24m</td><td>1 回</td><td>0.03</td><td>0.04</td><td>0.06</td><td>0.08</td><td>0.13</td><td>0.19</td></tr><tr><td>24m <L ≤30m</td><td>2 回</td><td>0.06</td><td>0.08</td><td>0.12</td><td>0.16</td><td>0.26</td><td>0.38</td></tr></table> 表 5. 8 鋼管 (T₄) (日/本) <table><tr><td rowspan="4">鋼管規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長</td><td>170以上300未満</td><td>300以上400未満</td><td>400以上500未満</td><td>500以上580以下</td></tr><tr><td>L ≤12m</td><td>0 回</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>12m <L ≤24m</td><td>1 回</td><td>0.04</td><td>0.08</td><td>0.10</td><td>0.11</td></tr><tr><td>24m <L ≤30m</td><td>2 回</td><td>0.08</td><td>0.16</td><td>0.20</td><td>0.22</td></tr></table> なお、現場条件により溶接回数 (標準) により難い場合は、表 5. 9 より 1 回当りの溶接日数を加減する。 表 5. 9 1 回当りの溶接日数 (日/回) <table><tr><td>H形鋼規格 (mm)</td><td>1 回当り溶接日数</td></tr><tr><td>150～175</td><td>0.03</td></tr><tr><td>200</td><td>0.04</td></tr><tr><td>250</td><td>0.06</td></tr><tr><td>300</td><td>0.08</td></tr><tr><td>350</td><td>0.13</td></tr><tr><td>400</td><td>0.19</td></tr></table> <table><tr><td>鋼管外径 (mm)</td><td>1 回当り溶接日数</td></tr><tr><td>170以上300未満</td><td>0.04</td></tr><tr><td>300以上400未満</td><td>0.08</td></tr><tr><td>400以上500未満</td><td>0.10</td></tr><tr><td>500以上580以下</td><td>0.11</td></tr></table> (例 1) 鋼管外径 190 mm杭長 30 m 溶接回数が 3 回の場合 (標準 2 回) 0.08 (日/本・標準) + 0.04 (日/回・1 回当り) = 0.12 (日/本) (例 2) 鋼管外径 190 mm杭長 9 m 溶接回数が 1 回の場合 (標準 0 回) 0 (日/本・標準) + 0.04 (日/回・1 回当り) = 0.04 (日/本) II-3-②-30						設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ ≤20	20<ℓ ≤30	170mm以上320mm以下	0.03	0.09	0.14	320mm超え580mm以下	0.07	0.20	0.32	設計杭径 \ 掘削長	8m以下	270mm超え320mm以下	0.02	H形鋼規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	150～175	200	250	300	350	400	L ≤12m	0 回	-	-	-	-	-	12m <L ≤24m	1 回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19	24m <L ≤30m	2 回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38	鋼管規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	170以上300未満	300以上400未満	400以上500未満	500以上580以下	L ≤12m	0 回	-	-	-	12m <L ≤24m	1 回	0.04	0.08	0.10	0.11	24m <L ≤30m	2 回	0.08	0.16	0.20	0.22	H形鋼規格 (mm)	1 回当り溶接日数	150～175	0.03	200	0.04	250	0.06	300	0.08	350	0.13	400	0.19	鋼管外径 (mm)	1 回当り溶接日数	170以上300未満	0.04	300以上400未満	0.08	400以上500未満	0.10	500以上580以下	0.11	削除 ④ 杭 1 本当りの溶接・ボルト接合日数 (溶接) (T₄) a) 杭 1 本当りの溶接日数 杭 1 本当りの溶接日数は、次表とする。 表 5. 4 H形鋼(溶接) (T₄) (日/本) <table><tr><td rowspan="4">H形鋼規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長</td><td>150～175</td><td>200</td><td>250</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td></tr><tr><td>L₀ ≤12m</td><td>0 回</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>12m <L₀ ≤24m</td><td>1 回</td><td>0.03</td><td>0.04</td><td>0.06</td><td>0.08</td><td>0.13</td><td>0.19</td></tr><tr><td>24m <L₀ ≤30m</td><td>2 回</td><td>0.06</td><td>0.08</td><td>0.12</td><td>0.16</td><td>0.26</td><td>0.38</td></tr></table> 表 5. 5 鋼管 (T₄) (日/本) <table><tr><td rowspan="4">鋼管規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長</td><td>170以上300未満</td><td>300以上400未満</td><td>400以上500未満</td><td>500以上580以下</td></tr><tr><td>L₀ ≤12m</td><td>0 回</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>12m <L₀ ≤24m</td><td>1 回</td><td>0.04</td><td>0.08</td><td>0.10</td><td>0.11</td></tr><tr><td>24m <L₀ ≤30m</td><td>2 回</td><td>0.08</td><td>0.16</td><td>0.20</td><td>0.22</td></tr></table> なお、現場条件により溶接回数 (標準) により難い場合は、表 5. 6 より 1 回当りの溶接日数を加減する。 表 5. 6 1 回当りの溶接日数 (日/回) <table><tr><td>H形鋼規格 (mm)</td><td>1 回当り溶接日数</td></tr><tr><td>150～175</td><td>0.03</td></tr><tr><td>200</td><td>0.04</td></tr><tr><td>250</td><td>0.06</td></tr><tr><td>300</td><td>0.08</td></tr><tr><td>350</td><td>0.13</td></tr><tr><td>400</td><td>0.19</td></tr></table> <table><tr><td>鋼管外径 (mm)</td><td>1 回当り溶接日数</td></tr><tr><td>170以上300未満</td><td>0.04</td></tr><tr><td>300以上400未満</td><td>0.08</td></tr><tr><td>400以上500未満</td><td>0.10</td></tr><tr><td>500以上580以下</td><td>0.11</td></tr></table>						H形鋼規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	150～175	200	250	300	350	400	L ₀ ≤12m	0 回	-	-	-	-	-	12m <L ₀ ≤24m	1 回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19	24m <L ₀ ≤30m	2 回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38	鋼管規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	170以上300未満	300以上400未満	400以上500未満	500以上580以下	L ₀ ≤12m	0 回	-	-	-	12m <L ₀ ≤24m	1 回	0.04	0.08	0.10	0.11	24m <L ₀ ≤30m	2 回	0.08	0.16	0.20	0.22	H形鋼規格 (mm)	1 回当り溶接日数	150～175	0.03	200	0.04	250	0.06	300	0.08	350	0.13	400	0.19	鋼管外径 (mm)	1 回当り溶接日数	170以上300未満	0.04	300以上400未満	0.08	400以上500未満	0.10	500以上580以下	0.11	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
設計杭径 \ 掘削長	10m以下	10<ℓ ≤20	20<ℓ ≤30																																																																																																																																																																																		
	170mm以上320mm以下	0.03	0.09	0.14																																																																																																																																																																																	
	320mm超え580mm以下	0.07	0.20	0.32																																																																																																																																																																																	
設計杭径 \ 掘削長	8m以下																																																																																																																																																																																				
	270mm超え320mm以下	0.02																																																																																																																																																																																			
H形鋼規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	150～175	200	250	300	350	400																																																																																																																																																																															
	L ≤12m	0 回	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																														
	12m <L ≤24m	1 回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19																																																																																																																																																																													
	24m <L ≤30m	2 回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38																																																																																																																																																																													
鋼管規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	170以上300未満	300以上400未満	400以上500未満	500以上580以下																																																																																																																																																																																	
	L ≤12m	0 回	-	-	-																																																																																																																																																																																
	12m <L ≤24m	1 回	0.04	0.08	0.10	0.11																																																																																																																																																																															
	24m <L ≤30m	2 回	0.08	0.16	0.20	0.22																																																																																																																																																																															
H形鋼規格 (mm)	1 回当り溶接日数																																																																																																																																																																																				
150～175	0.03																																																																																																																																																																																				
200	0.04																																																																																																																																																																																				
250	0.06																																																																																																																																																																																				
300	0.08																																																																																																																																																																																				
350	0.13																																																																																																																																																																																				
400	0.19																																																																																																																																																																																				
鋼管外径 (mm)	1 回当り溶接日数																																																																																																																																																																																				
170以上300未満	0.04																																																																																																																																																																																				
300以上400未満	0.08																																																																																																																																																																																				
400以上500未満	0.10																																																																																																																																																																																				
500以上580以下	0.11																																																																																																																																																																																				
H形鋼規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	150～175	200	250	300	350	400																																																																																																																																																																															
	L ₀ ≤12m	0 回	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																														
	12m <L ₀ ≤24m	1 回	0.03	0.04	0.06	0.08	0.13	0.19																																																																																																																																																																													
	24m <L ₀ ≤30m	2 回	0.06	0.08	0.12	0.16	0.26	0.38																																																																																																																																																																													
鋼管規格 (mm) \ 溶接回数 (標準) \ 杭長	170以上300未満	300以上400未満	400以上500未満	500以上580以下																																																																																																																																																																																	
	L ₀ ≤12m	0 回	-	-	-																																																																																																																																																																																
	12m <L ₀ ≤24m	1 回	0.04	0.08	0.10	0.11																																																																																																																																																																															
	24m <L ₀ ≤30m	2 回	0.08	0.16	0.20	0.22																																																																																																																																																																															
H形鋼規格 (mm)	1 回当り溶接日数																																																																																																																																																																																				
150～175	0.03																																																																																																																																																																																				
200	0.04																																																																																																																																																																																				
250	0.06																																																																																																																																																																																				
300	0.08																																																																																																																																																																																				
350	0.13																																																																																																																																																																																				
400	0.19																																																																																																																																																																																				
鋼管外径 (mm)	1 回当り溶接日数																																																																																																																																																																																				
170以上300未満	0.04																																																																																																																																																																																				
300以上400未満	0.08																																																																																																																																																																																				
400以上500未満	0.10																																																																																																																																																																																				
500以上580以下	0.11																																																																																																																																																																																				
												記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																																																																																																									
積算上の注意事項												(控え頁) 13/25																																																																																																																																																																									

改 正 理 由		一部改正				改 正																																																																																											
		現 行				改 正				備 考																																																																																							
⑤ 鋼管板厚補正係数 (α) 表 5. 1 0 鋼管板厚補正係数(α) <table><tr><th>板厚 (mm)</th><th>～14</th><th>15～17</th><th>18～21</th><th>22～25</th><th>26～30</th></tr><tr><th>係数</th><td>1. 00</td><td>1. 41</td><td>2. 00</td><td>2. 76</td><td>3. 84</td></tr></table> (注) 板厚30mmを超えるものについては、別途考慮する。 ⑥ 杭 1 本当りの溶接・ボルト接合日数 (ボルト接合) (T_d) 表5.11 H形鋼(ボルト接合)(T_d) (日／本) <table><tr><th colspan="2">H形鋼規格 (mm)</th><th rowspan="2">300</th><th rowspan="2">350</th><th rowspan="2">400</th></tr><tr><th>接合回数(標準)</th><th>杭長</th></tr><tr><td>L ≤ 12m</td><td>0 回</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>12 m < L ≤ 24 m</td><td>1 回</td><td>0. 06</td><td>0. 08</td><td>0. 10</td></tr><tr><td>24 m < L ≤ 30 m</td><td>2 回</td><td>0. 12</td><td>0. 16</td><td>0. 20</td></tr></table> なお、現場条件により接合回数 (標準) により難い場合は、表 5. 1 2 より 1 回当りのボルト接合日数を加減する。 表 5. 1 2 1 回当りのボルト接合日数 (日／回) <table><tr><th>H形鋼規格 (mm)</th><th>1 回当り接合日数</th></tr><tr><td>300</td><td>0. 06</td></tr><tr><td>350</td><td>0. 08</td></tr><tr><td>400</td><td>0. 10</td></tr></table> (例 1) H350mm 杭長 30m 接合回数が 3 回の場合 (標準 2 回) 0. 16 (日／本・標準) + 0. 08 (日／回・1 回当り) = 0. 24 (日／本) (例 2) H350mm 杭長 9m 接合回数が 1 回の場合 (標準 0 回) 0 (日／本・標準) + 0. 08 (日／回・1 回当り) = 0. 08 (日／本)						板厚 (mm)	～14	15～17	18～21	22～25	26～30	係数	1. 00	1. 41	2. 00	2. 76	3. 84	H形鋼規格 (mm)		300	350	400	接合回数(標準)	杭長	L ≤ 12m	0 回	－	－	－	12 m < L ≤ 24 m	1 回	0. 06	0. 08	0. 10	24 m < L ≤ 30 m	2 回	0. 12	0. 16	0. 20	H形鋼規格 (mm)	1 回当り接合日数	300	0. 06	350	0. 08	400	0. 10	b)杭 1 本当りのボルト接合日数 杭 1 本当りのボルト接合日数は、次表とする。 表 5. 7 H形鋼(ボルト接合)(T_d) (日／本) <table><tr><th colspan="2">H形鋼規格 (mm)</th><th rowspan="2">300</th><th rowspan="2">350</th><th rowspan="2">400</th></tr><tr><th>接合回数(標準)</th><th>杭長</th></tr><tr><td>L₀ ≤ 12m</td><td>0 回</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>12 m < L₀ ≤ 24 m</td><td>1 回</td><td>0. 06</td><td>0. 08</td><td>0. 10</td></tr><tr><td>24 m < L₀ ≤ 30 m</td><td>2 回</td><td>0. 12</td><td>0. 16</td><td>0. 20</td></tr></table> なお、現場条件により接合回数 (標準) により難い場合は、表 5. 8 より 1 回当りのボルト接合日数を加減する。 表 5. 8 1 回当りのボルト接合日数 (日／回) <table><tr><th>H形鋼規格 (mm)</th><th>1 回当り接合日数</th></tr><tr><td>300</td><td>0. 06</td></tr><tr><td>350</td><td>0. 08</td></tr><tr><td>400</td><td>0. 10</td></tr></table> ⑤ 鋼管板厚補正係数 (α) 表 5. 9 鋼管板厚補正係数(α) <table><tr><th>板厚 (mm)</th><th>～14</th><th>15～17</th><th>18～21</th><th>22～25</th><th>26～30</th></tr><tr><th>係数</th><td>1. 00</td><td>1. 41</td><td>2. 00</td><td>2. 76</td><td>3. 84</td></tr></table> (注) 板厚30mmを超えるものについては、別途考慮する。						H形鋼規格 (mm)		300	350	400	接合回数(標準)	杭長	L ₀ ≤ 12m	0 回	－	－	－	12 m < L ₀ ≤ 24 m	1 回	0. 06	0. 08	0. 10	24 m < L ₀ ≤ 30 m	2 回	0. 12	0. 16	0. 20	H形鋼規格 (mm)	1 回当り接合日数	300	0. 06	350	0. 08	400	0. 10	板厚 (mm)	～14	15～17	18～21	22～25	26～30	係数	1. 00	1. 41	2. 00	2. 76	3. 84	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
板厚 (mm)	～14	15～17	18～21	22～25	26～30																																																																																												
係数	1. 00	1. 41	2. 00	2. 76	3. 84																																																																																												
H形鋼規格 (mm)		300	350	400																																																																																													
接合回数(標準)	杭長																																																																																																
L ≤ 12m	0 回	－	－	－																																																																																													
12 m < L ≤ 24 m	1 回	0. 06	0. 08	0. 10																																																																																													
24 m < L ≤ 30 m	2 回	0. 12	0. 16	0. 20																																																																																													
H形鋼規格 (mm)	1 回当り接合日数																																																																																																
300	0. 06																																																																																																
350	0. 08																																																																																																
400	0. 10																																																																																																
H形鋼規格 (mm)		300	350	400																																																																																													
接合回数(標準)	杭長																																																																																																
L ₀ ≤ 12m	0 回	－	－	－																																																																																													
12 m < L ₀ ≤ 24 m	1 回	0. 06	0. 08	0. 10																																																																																													
24 m < L ₀ ≤ 30 m	2 回	0. 12	0. 16	0. 20																																																																																													
H形鋼規格 (mm)	1 回当り接合日数																																																																																																
300	0. 06																																																																																																
350	0. 08																																																																																																
400	0. 10																																																																																																
板厚 (mm)	～14	15～17	18～21	22～25	26～30																																																																																												
係数	1. 00	1. 41	2. 00	2. 76	3. 84																																																																																												
Ⅱ-3-②-31																																																																																																	
積算上の注意事項								(控え頁) 14／25																																																																																									

工 種	場所打杭工(ダウンザホールハンマ工)
-----	--------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正													
		現 行													
現 行		改 正		備 考											
6. 杭1本当りモルタル・コンクリート及び購入土(砂)使用量 杭1本当りモルタル・コンクリート又は購入土(砂)使用量は、次式による。 ただし、H形鋼を使用する場合は、モルタル杭又は購入土(砂)を標準とする。 6-1 モルタルを使用する場合 $Q=\frac{\pi}{4}\times D_1^2\times\ell\times(1+K_1) \cdots\cdots\text{式6. 1}$ Q : モルタル使用量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) ℓ : 打設長 (m) K₁ : モルタルロス率 <table><tr><th colspan="2">表6. 1 モルタルロス率(K₁)</th></tr><tr><td>K₁</td><td>+0.1</td></tr></table> 6-2 コンクリート(生コン)を使用する場合 $Q_1=\frac{\pi}{4}\times(D_1^2-D_2^2)\times\ell\times(1+K_2) \cdots\cdots\text{式6. 2}$$Q_2=\frac{\pi}{4}\times D_2^2\times\ell\times(1+K_3) \cdots\cdots\text{式6. 3}$ Q₁ : モルタル使用量 (m³/本) Q₂ : 中詰コンクリート使用量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) D₂ : 設計杭径 (m) ℓ : 打設長 (m) K₂ : モルタルロス率 K₃ : 中詰コンクリートロス率 <table><tr><th colspan="2">表6. 2 モルタルロス率(K₂)</th></tr><tr><td>K₂</td><td>+0.1</td></tr></table><table><tr><th colspan="2">表6. 3 中詰コンクリートロス率(K₃)</th></tr><tr><td>K₃</td><td>+0.02</td></tr></table> (注) 防護欄の場合は、D₂を支柱外径とし、Q₁(モルタル)のみ計上する。 6-3 購入土(砂)を使用する場合 $Q=\frac{\pi}{4}\times D_1^2\times\ell\cdots\cdots\text{式6. 4}$ Q : 購入土(砂)使用量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) ℓ : 打設長 (m)		表6. 1 モルタルロス率(K ₁)		K ₁	+0.1	表6. 2 モルタルロス率(K ₂)		K ₂	+0.1	表6. 3 中詰コンクリートロス率(K ₃)		K ₃	+0.02	現行どおり 6-1 モルタルを使用する場合 $Q=\frac{\pi}{4}\times D_1^2\times L_a\times(1+K_1) \cdots\cdots\text{式6. 1}$ Q : モルタル使用量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) L_a : 打設長 (m) K₁ : モルタルロス率 現行どおり 6-2 コンクリート(生コン)を使用する場合 $Q_1=\frac{\pi}{4}\times(D_1^2-D_2^2)\times L_a\times(1+K_2) \cdots\cdots\text{式6. 2}$$Q_2=\frac{\pi}{4}\times D_2^2\times\ell\times(1+K_3) \cdots\cdots\text{式6. 3}$ Q₁ : モルタル使用量 (m³/本) Q₂ : 中詰コンクリート使用量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) D₂ : 設計杭径 (m) L_a : 打設長 (m) K₂ : モルタルロス率 K₃ : 中詰コンクリートロス率 現行どおり 6-3 購入土(砂)を使用する場合 $Q=\frac{\pi}{4}\times D_1^2\times L_a\cdots\cdots\text{式6. 4}$ Q : 購入土(砂)使用量 (m³/本) D₁ : 削孔径 (m) L_a : 打設長 (m)	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表6. 1 モルタルロス率(K ₁)															
K ₁	+0.1														
表6. 2 モルタルロス率(K ₂)															
K ₂	+0.1														
表6. 3 中詰コンクリートロス率(K ₃)															
K ₃	+0.02														
積算上の注意事項				(控え頁) 15／25											